

入 札 説 明 書

総合評価方式により工事希望型指名競争入札を下記のとおり行いますから、希望があれば米子市建設工事執行規則(平成17年米子市規則第106号)及び米子市会計規則(平成17年米子市規則第44号)を承知のうえ参加してください。

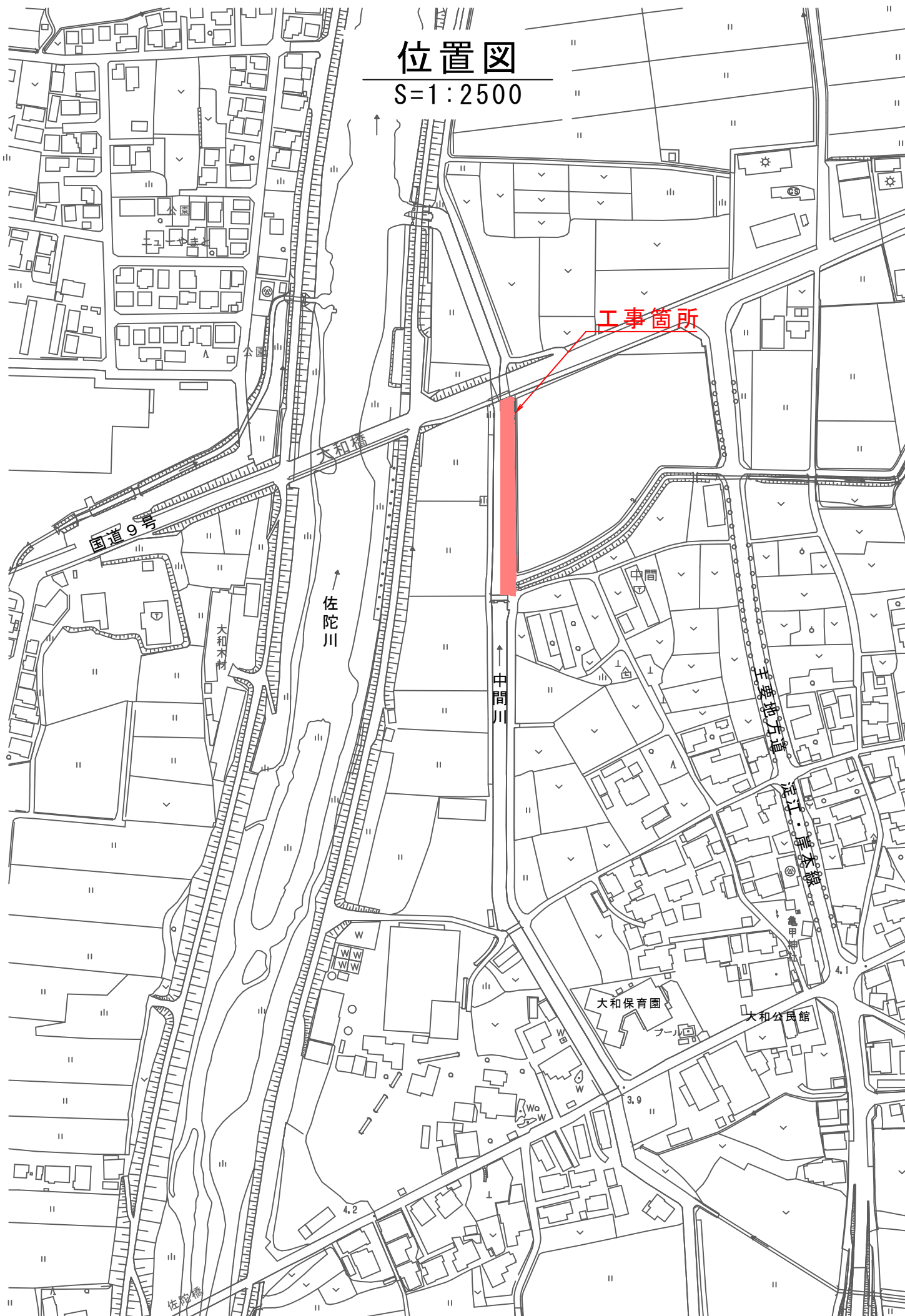
記				
入札に付する工 事	工 事 名	準用河川中間川改良工事(下流工区)		
	工 事 場 所	米子市淀江町中間地内	工期	契約日から 令和7年3月28日まで
契 約 条 項 を 示 す 場 所		米子市総務部契約検査課		
担 当 課		都市整備課		
入札保証金に関する事項		入札保証金	免除	
現 場 説 明 会		なし		
開 札 の 日 時 及 び 場 所		日時 場所	令和6年9月10日 午前9時30分 本庁舎202会議室	
契 約 保 証 に 関 す る 事 項	請負代金の額が130万円を超える工事については、契約の締結と同時に請負代金額の10分の1以上の額を保証する次の各号の一に掲げる保証を付さなければならない。 (1) 契約保証金の納付 (2) 契約保証金に代わる担保となる有価証券等の提供 (3) 銀行若しくは市長が確実と認める金融機関又は保証事業会社(公共工事の前払金保証事業に関する法律(昭和27年法律第184号)第2条第4項に規定する保証事業会社をいう。以下同じ。)の保証 (4) 公共工事履行保証証券による保証 (5) 履行保証保険契約の締結			
前 払 金	有	40%以内		
部 分 払	有	回数は、米子市建設工事執行規則による ※部分払いに替えて中間前払の選択も可		
入札に関する注 意 事 項	1. 開札前天災地変等のやむを得ない事由が生じたとき、又は競争の意思がないと認められるときは、入札の執行を中止し、又は取り止めることがある。 2. 入札参加者が1者であっても、入札を執行するものとする。 3. 入札に参加する者に必要な資格のない者のした入札及び米子市郵便入札実施要領第4条に定める入札は、無効とする。 4. 入札者は、到達した入札書は、書換え、引換え又は撤回することができない。 5. 入札者は、入札書到達後においても入札執行の完了までは入札の参加を辞退することができる。 6. 本件入札においては、入札者を米子市総合評価方式による競争入札試行要領に規定する方法で採点評価した評価値が最も高い者を落札予定者とし、応募書類等について審査した後に落札決定する。 7. 評価値が最も高い者が2者以上あるときは、当該者にくじを引かせて落札者を決定するものとする。 8. 失格基準価格を下回る額による入札を行った入札者は、失格とする。 9. 入札書に工事費内訳書及び配置技術者工事成績調書(これに添付する書類を含む。)が同封されていない場合は、失格とする。 10. 落札決定にあたっては、入札書に記載された金額に10%に相当する額を加算した金額をもって落札価格(円未満切捨て(単価契約を除く。))とするので、入札者は、消費税及び地方消費税に係る課税業者であるか免税業者であるかを問わず、見積もった契約希望額の110分の100に相当する金額を入札書に記載する。 11. 入札参加者は、私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律(昭和22年法律第54号)等に抵触する行為を行ってはならない。 12. 入札回数は、1回とする。			
そ の 他 の注 意 事 項	1. 米子市工事希望型指名競争入札実施要領に定める経営内容等が不健全な申込者及び工事成績が不良な申込者は、不指名とすることがある。また、同一入札における資本的、人的関係にある複数の申込者のうち1者のみを指名し、他の者を不指名とすることがある。 2. 申込時に届けのあった配置予定技術者の変更は、入札書差出期限まで変更可能とし、その後の変更は原則として認めないものとする。 3. 同一の主任技術者は、米子市が発注した工事(通常型指名競争入札及び随意契約によるものを除く。)に3件を超えて従事することはできないものとする。 4. 別に定める「建設工事に係る配置予定技術者の取扱いについて」における重複申込者に該当する者は、配置予定技術者重複届出書を所定の方法により提出すること。なお、入札結果により配置予定技術者がいなくなった場合は、失格とする。 5. 工事現場に配置する技術者等(主任技術者、監理技術者及び現場代理人をいう。)は、当該建設業者と直接的かつ恒常的な雇用関係(第三者の介入する余地のない雇用に関する一定の権利義務関係が存在することをいう。)が申込日までに3ヶ月以上ある者に限るものとする。			
施工に関する注 意 事 項	1. 工事設計図書 別添のとおり 2. 本工事の施工にあたっては、鳥取県制定「土木工事共通仕様書」、「土木工事施工管理基準」、「公共建築工事標準仕様書」又はその他別に定める仕様書等に基づき実施しなければならない。 3. この契約に係る工事の施工にあたっては、ダンプカー協会加入車を優先的に使用するよう努めること。 4. 工事着手前に自治会長及び地元関係者に連絡すること。			
米子市建設工事執行規則第14条により公にする予定価格 ¥86,653,600				
調査基準価格 (直接工事費＋共通仮設費＋現場管理費の9/10＋一般管理費の5.5/10) ×1.1				
失格基準価格 (直接工事費＋共通仮設費＋現場管理費の9/10＋一般管理費の5.5/10) ×0.99×1.1				
総合評価方式で決定する調査基準価格は、1.1を乗ずる前の価格の1万円未満の端数を切り上げて算定する。失格基準価格はさらに0.99を乗じた価格の1万円未満の端数を切り上げて算定する。				

工 事 設 計 書

令和 6 年度	工事名	準 用 河 川 中 間 川 改 良 工 事 （ 下 流 工 区 ）				
		部長	課 長	担当課長補佐	審 査	設 計
設 計 金 額	円					
工 期	契約日 から 令和7年3月28日 まで					
工 事 場 所	米子市 淀江町中間 地内					
工 事 概 要	施工延長 L=113.3m					
	河川土工 一 式					
	矢板護岸工 一 式					
	付帯道路工 一 式					
	構造物撤去工 一 式					
	仮設工 一 式					

位置図

S=1:2500



設計数量総括表

工事区分	工 種	種 別	細 別	規 格	単位	数 量	摘 要
築堤・護岸					式	1	
	河川土工				式	1	
		掘削工			式	1	
			掘削	土砂 障害無し	m ³	120	
		盛土工					
			路床盛土	W≦2.5m	m ³	80	
			河床盛土	W≧4.0m、既設石積転用	m ³	70	
				W≧4.0m、割栗石	m ³	50	
			土砂運搬	土砂	m ³	120	
	矢板護岸工				式	1	
		作業土工			式	1	
		笠コンクリート			式	1	
			笠コンクリート	σ ck=24N/mm2	m	113	
		矢板工			式	1	
			鋼矢板	Nmax≦25 10H型 圧入長L=8.6m	枚	3	2.5t
				Nmax≦25 10H型 圧入長L=7.5m	枚	122	84.3t
			油圧式杭圧入引抜機 自走装置の取付・取外		回	1	
			油圧式 杭圧入引抜機の自走		枚	125	
			鋼矢板購入費		式	1	
			圧入引抜機据付・解体		回	1	
			ガス切断	鋼矢板	箇所	3	
			1号間詰めコンクリート	σ ck=18N/mm2, 下流側	箇所	1	
			2号間詰めコンクリート	σ ck=18N/mm2, 上流側	箇所	1	
			現場発生品運搬		式	1	
	付帯道路工				式	1	
		路側防護工			式	1	
			ガードレール	コンクリート建込 Gr-C-2B	m	113	

工事区分	工 種	種 別	細 別	規 格	単位	数 量	摘 要
		アスファルト舗装工			式	1	
			下層路盤 (車道部)	再生クラッシャーラン RC-40 t=15cm	m ²	235	
			上層路盤 (車道部)	粒度調整碎石 M-30 t=10cm	m ²	235	
			表層(車道・路肩部)	再生密粒度As(20) t=5cm	m ²	504	
	構造物撤去工				式	1	
		構造物取壊し工			式	1	
			コンクリート構造物取壊し	無筋構造物	m ³	19	
				鉄筋構造物	m ³	1	
			舗装版切断	アスファルト舗装版 t≤15cm	m	15	
			舗装版破砕	アスファルト舗装版 t≤15cm	m ²	504	
		運搬処理工			式	1	
			殻運搬	コンクリート殻 無筋構造物	m ³	19	
				コンクリート殻 鉄筋構造物	m ³	1	
				アスファルト殻	m ³	25	
				現場発生品運搬	式	1	
			殻処分	コンクリート殻	t	44	
				アスファルト殻	t	59	
				廃プラスチック	m3	1	
	仮設工				式	1	
		工事用道路工			式	1	
		仮水路工			式	1	
		交通管理工			式	1	

1 仕様書

この契約において仕様書とは、特に定めのない限り「鳥取県土木工事共通仕様書」をいう。

2 下請関係の合理化について

- (1) この契約に係る工事の的確な施工を確保するため、下請契約を締結しようとする場合は、「建設産業における生産システム合理化指針」及び「鳥取県建設工事における下請契約等適正化指針」の趣旨に則り、優良な専門工事業者の選定、合理的な下請契約の締結、代金支払等の適正な履行、適正な施工体制の確立、下請における雇用管理等の指導等を行い本指針の遵守に努めること。
- (2) 中小建設業者に対する取引条件の適正化及び資金繰りの安定化等に資するため、元請業者は下請業者に対して、発注者から受取った前払金の下請業者への支払い、下請代金における現金比率の改善、手形期間の短縮等、下請代金支払の適正化について配慮すること。
- (3) 請負者は、下請契約を締結した場合は、施工体制台帳及び施工体系図を発注者に速やかに提出しなければならない。また、当該施工体制台帳及び施工体系図下に変更があったときは、変更が生じた日から20日以内（完成時においては、完成通知書の提出時）に変更後の書類を提出しなければならない。
- (4) 工事の一部を第三者に請け負わせる場合、又は工事に伴う交通誘導等の業務を第三者に委託する場合には、市内及び県内業者（以下「市内業者等」という。）との契約に努めること（優先順位は市内、県内の順位とする）。ただし、技術的に施工又は対応できる市内業者等がない工事等を請け負わせ又は業務を委託する場合、あるいは市内業者等で施工できても工程的に間に合わない等、特段の理由がある場合は、この限りでない。

3 建設資材等について

- (1) 工事に使用する資材については適法に生産されたものとする。
- (2) この契約に係る建設資材納入業者との契約に当たっては、当該業者の利益を不当に害しないよう公正な取引を確保するよう努めること。
- (3) 工事に使用する資材については、「県土整備部リサイクル製品使用基準」に基づき、リサイクル製品を積極的に活用すること。
- (4) リサイクル製品以外の工事に要する資材の使用順位は、次のとおりとする。
 - ① 市内産の資材がある場合は、市内産の資材の使用に努めること。ない場合は、県内産について同様の取り扱いとする。
 - ② 県外産の資材を使用する場合は、市内に本社又は営業所、支店等を有する販売業者（以下「市内販売業者」という。）から購入した資材の使用に努めること。市内販売業者がないときは、県内販売業者について同様の取り扱いとする。ただし、当該資材について市内販売業者又は県内販売業者がない場合は、この限りでない。

4 工事の安全確保について

この契約に係る工事の施工に当たっては、労働安全衛生法、労働安全衛生規則等を遵守し、労働災害の防止に努め、また工事中の交通事故防止について、特に留意すること。

5 建設機械の使用について

- (1) 標準操作方式建設機械を使用するよう努めること。
- (2) 施工現場及びその周辺の環境改善を図るため、低騒音型・低振動型の建設機械を使用するよう努めること。
- (3) 排ガス対策型建設機械の使用については、排ガス対策型建設機械の使用基準について（平成17年11月15日付第200500080172号県土整備部長通知）によること。

6 団体加入車の使用促進について

「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」（以下「法」という。）の目的に鑑み、法第12条に規定する団体の設立状況を踏まえ、同団体への加入車の使用を促進するよう努めること。

7 ダンプトラック等による運搬について

- (1) 積載重量制限を超えて工事用資機材等を積み込まず、また積み込ませないようにすること。
- (2) さし柵装着車、不表示車等による違法運行は行わず、また行わせないようにすること。
- (3) 過積載車両、さし柵装着車、不表示車等から工事用資機材等の引渡しを受ける等、過積載を助長することのないようにすること。
- (4) 取引関係のあるダンプカー事業者が過積載を行い、又はさし柵装着車、不表示車等による違法運行を行っている場合は、早急に不正状態を解消する措置を講ずること。
- (5) 建設副産物の処理及び工事用資機材等の搬入・搬出等に当たって、下請事業者及び工事用資機材等納入業者の利益を不当に害することのないようにすること。
- (6) 過積載を行っている資材納入業者から資材を購入しないこと。
- (7) 産業廃棄物の運搬車については、車体の外側に、環境省令で定めるところにより、産業廃棄物の収集又は運搬の用に供する運搬車である旨その他の事項を見やすいように表示し、かつ、当該運搬車に環境省令で定める書面を備え付けること。また、産業廃棄物処理業者に委託して産業廃棄物を運搬する場合、この表示、備え付けを行わせること。
- (8) 以上のことにつき、元請建設業者は下請建設業者を十分指導すること。

8 不正軽油使用の禁止について

工事現場で使用し、又は使用させる車両（資機材等の搬出入車両を含む）並びに建設機械等の燃料として、地方税法（昭和25年法律第226号）に違反する軽油等を使用しないこと。

9 建設業退職金共済制度への加入等

- (1) 建設業者は、建設業退職金共済制度（以下「建退共」という。）に加入すると共に、その建退共の対象となる労働者について証紙を購入し、当該労働者の共済手帳に証紙を貼付すること。ただし、下請けを含むすべての労働者が、中小企業退職金共済制度、清酒製造業退職金共済制度、林業退職金制度のいずれかに既に加入済みで、建退共に加入することができないと認められる場合は、この限りでない。
- (2) 建設業者が下請契約を締結する際は、下請業者に対してこの制度の趣旨を説明し、原則として証紙を下請の延労働者数に応じて現物交付することにより、下請業者の建退共加入及び証紙の貼付を促進すること。なお、現物を交付することができない場合は、掛金相当額を下請代金中に算入することとし、契約書等に明記すること。
- (3) 請負業者は、工事現場に「建設業退職金共済制度適用事業主工事現場」の標識を掲示すること。

10 建設業法の遵守について

- (1) 建設業法（昭和24年法律第100号）に違反する一括下請その他不適切な形態の下請契約を締結しないこと。
- (2) 建設業法第26条の規定により、請負業者が工事現場ごとに設置しなければならない専任の主任技術者または、専任の監理技術者については、適切な資格、技術力を有する者（工事現場に常駐して専らその職務に従事するもので、請負業者と直接的かつ恒常的な雇用関係にある者に限る。）を配置すること。
- (3) 請負業者が工事現場ごとに置かなければならない専任の監理技術者は、1級施工管理技士等の国家資格者等で監理技術者資格者証の交付を受けている者を配置すること。この場合において、発注者から請求があったときは監理技術者資格者証を提示すること。
- (4) 建設業法第40条の規定により、請負業者は建設現場ごとに「建設業の許可票」を掲示すること。
- (5) 上記のほか、建設業法等に抵触する行為は行わないこと。

11 労働基準法の遵守

この契約に係る工事の施工に当っては、労働基準法等の趣旨に則り法定労働時間週40時間を遵守すること。

12 建設業からの暴力団排除の徹底について

- (1) 工事の施工に際し、暴力団等の構成員又はこれに準ずる者から不当な要求や妨害（以下「不当介入」という。）を受けた場合は、監督員に速やかにその旨を報告するとともに、警察に届出を行い、捜査上必要な協力を行うこと。
- (2) この場合において、工程等を変更せざるを得なくなったときは、速やかに監督員に協議すること。

13 現場代理人、追加技術者、主任技術者及び監理技術者の雇用関係について

- (1) 工事現場に配置する技術者等（技術者等とは、現場代理人、追加技術者、主任技術者、監理技術者及び技能士をいう。）は、所属建設業者と直接的かつ恒常的な雇用関係にあるものでなければならない。
- (2) 直接的雇用とは、技術者等とその所属建設業者との間に第三者の介入する余地のない雇用に関する一定の権利義務関係（賃金、労働時間、雇用及び権利構成）が存在することをいい、恒常的な雇用関係とは一定の期間（3か月以上）にわたり当該建設業者に勤務し、日々一定時間以上職務に従事することが担保されていることに加え、技術者等と所属建設業者が双方の持つ技術力を熟知し、建設業者が責任を持って技術者等を工事現場に配置できるとともに技術者等が建設業者が有する技術力を、十分かつ円滑に活用して工事の監理等の業務を行うことができることをいう。

14 労働者の福祉向上について

- (1) 建設労働者の適切な賃金水準の確保、社会保険等（雇用保険、健康保険及び厚生年金保険）への加入など、労働者の福祉向上に努めること。なお、健康保険等の適用を受けない建設労働者に対しても、国民健康保険等に参加するよう指導に努めること。
- (2) 下請契約の締結に際しては、下請業者へ法定福利費を内訳明示した見積書（標準見積書という。）の提示を求め、提示された場合にはこれを尊重するとともに、社会保険等の法定福利費などの必要経費を適切に考慮するように努めること。

15 産業廃棄物の処理に係る税について

この契約に係る工事で発生する建設廃棄物のうち、鳥取県、岡山県、広島県等の産業廃棄物の処理に係る税条例を施行している自治体内に搬入する建設廃棄物については、産業廃棄物の処理に係る税が課税される場合があるので適切に処理すること。

16 コンクリート構造物に使用するコンクリートの水セメント比

コンクリート構造物の耐久性を向上させるため、一般環境条件の場合のコンクリート構造物に使用するコンクリートの水セメント比は、鉄筋コンクリートについては5.5パーセント以下、無筋コンクリートについては6.0パーセント以下とする。

17 消費税及び地方消費税の適正転嫁等について

下請契約及び資材購入等において、消費税の円滑かつ適正な転嫁の確保のための消費税の転嫁を阻害する行為の是正等に関する特別措置法（平成25年法律第41号）で禁止された転嫁拒否等行為を行わないなど、適切な対応を行うこと。

18 その他

- (1) 工事施工管理資料等については簡略化名称を使用できることとする。ただし、略称については、発注者と協議の上重複しないよう注意し、また、わかりやすく簡単なものとする。
- (2) コンクリート構造物については、「コンクリート構造物ひびわれ抑制対策指針」に基づき施工するものとする。
- (3) 建設副産物のリサイクル、熱帯木材型枠の削減等、環境対策について積極的に取り組むこと。
- (4) 労務費については、法定労働時間週40時間を考慮したものとしている。
- (5) 請負業者が本工事の一部について下請契約を締結する場合には、請負業者は、当該下請工事の受注者（当該下請工事の一部に係る二次以降の下請負人を含む。）においても同様の義務を負う旨を定めなければならない。

(6) 舗装単独工事（アスファルト）においては、表層工、基層工及び上層路盤工を自社施工しなければならない。ただし、表層工、基層工及び上層路盤工であっても特殊工法部分についてはこの限りでない。

(7) 契約書第 25 条第 5 項の対応については、国土交通省「工事請負契約書第 26 条第 5 項（単品スライド条項）運用マニュアル（案）」に基づき請求を行うこと。なお当マニュアル中「工事請負契約書第 26 条」とあるのは「米子市建設工事請負契約書第 25 条」と読み替えるものとする。

契約書第 25 条第 6 項の対応については、国土交通省「賃金等の変動に対する工事請負契約書第 25 条第 6 項（インフレスライド条項）運用マニュアル（暫定版）」に基づき請求を行うこと。

現場説明書

令和6年6月1日改正
特記事項1

仕様書	本工事の施工に当たっては、契約日現在の次に掲げる仕様書等によること。 ・ <u>鳥取県土木工事共通仕様書</u> ・ <u>鳥取県土木工事施工管理基準</u> ・ _____	
工程	①（他工事等との調整） ②（部分完成、着工保留） ③（施工時間） ④（余裕期間設定工事） ⑤（鋼材の調達の遅れによる工期の延長） ⑥（週休2日工事）	_____については、_____と関連するので相互の連絡を密にすること。 _____については、_____まで_____（すること ・ しないこと）。 本工事の施工時間は、<u>8：30</u> ～ <u>17：00</u> とする。 本工事は、米子市余裕期間設定工事に係る実施要領（令和3年4月1日施行）の対象工事であり、工事開始日、前払金の請求、技術者の配置及びその他の取扱いについては、同要領の規定による。 工期については、調達公告のとおりとする。 この工事の工期には、鋼材調達期間として、_____か月を見込んでいるが、請負者の責に帰することができない事由により鋼材の調達が遅れ、工期内に工事を完成することができない場合は、その理由を明示した書面により、発注者に工期の延長変更を請求することができる。 本工事は、米子市週休2日工事実施要領（土木工事）（令和3年4月1日施行）の対象工事である。本工事調達公告日時点で最新の同要領の規定に従い週休2日工事を実施すること。
用地関係	①（用地・物件等未処理）	本工事区間の_____には_____があるので、監督員と打合わせのうえ施工を行うこと。 なお、_____頃_____の予定である。
支障物件	①（埋設物等の事前調査） ②（支障物件） ③（立木の置き場所）	工事にかかる地下埋設物等の事前調査については、[未調査・<u>調査済み</u>]である。 _____の施工に当って、_____が支障となっているが、_____までに移設が完了する見込みである。 予定どおり処理できなかった場合は別途協議する。 工事用地内の立木は伐採し、_____に置くこと。
対公策害	①（騒音振動対策）	「建設工事にともなう騒音振動対策技術指針」を順守すること。 本工事の施工に当っては、排出ガス対策型建設機械を使用すること。
安全対策	①（交通安全施設等）	一般交通等に支障を及ぼさないよう十分に注意して施工すること。 なお、交通整理の必要日数 <u>61</u> 日を見込んでいる。配置人員として、交通誘導員Aを合計 <u>122</u> 名（交代要員[有・無]）、交通誘導員Bを合計 <u>31</u> 名（交代要員[有・無]）を見込んでいるが、警察等との協議により変更が生じた場合は別途協議すること。 警備業法に規定する警備員を配置する場合においては、交通誘導員A、交通誘導員Bの定義は以下のとおりとする。 交通誘導員Aとは、警備業法第2条第4号に規定する警備員であり、警備員等の検定等に関する規則第1条第4号に規定する交通誘導警備業務に従事する者で、交通誘導警備業務に係る1級検定合格警備員又は2級検定合格警備員をいう。また、交通誘導員Bとは、警備業法第2条第3項に規定する警備業者の警備員で交通誘導員A以外の交通の誘導に従事する者をいう。 なお、自社の従業員で交通整理を行う場合は、警備業法第14条で規定する以外の者とし、安全教育、安全訓練等を十分行うこと。この場合は交通誘導員Bを配置しているとみなす。
排水濁水処理	①（濁水処理）	工事で発生する濁水に対しては、濁水処理を行うものとし、その工法については、設計図書によるものとする。 なお、これにより難しい場合は別途協議すること。

現場説明書

特記事項2

	【建設発生土（処理）】 ①（他工事等流用） ②（建設技術センター） ③（民間残土受入地） ④（土質改良プラント）	建設発生土は_____市・町・村_____地内の_____工事現場に運搬（片道運搬距離_____km）するものとする。 建設発生土は_____市・町・村_____地内のセンター事業所に運搬（片道運搬距離_____km）するものとする。 なお、処理費として、1 m³当たり_____円をセンターに支払うこと。 建設発生土は_____市・町・村_____地内の_____に運搬（片道運搬距離_____km）するものとする。 なお、処理費として、1 m³当たり_____円を_____に支払うこと。 建設発生土は_____市・町・村_____地内の_____に運搬（片道運搬距離_____km）するものとする。なお、処理費として1 m³当り_____円を_____に支払うこと。
建設副産物の処理	【コンクリート塊・アスファルト塊・建設発生木材（処理）】 ⑤（分別解体等） ⑥（他工事等流用） ⑦（再資源化施設への搬出） （施設の名称・受入れ費用） （受入れ時間帯） （受入れ条件） ⑧（木材市場等へ売却） ⑨（最終処理等） ⑩（産業廃棄物の処理に係る税）	コンクリート塊、アスファルト塊、建設発生木材は、現場内において分別解体するものとする。その方法は、別表のとおりとする。 なお、その費用を下記のとおり見込んでいる。 コンクリート塊 1 m³当り <u>7,416 円（無筋）、14,820 円（有筋）</u> アスファルト塊 1 m²当り <u>160.3</u> 円 建設発生木材 1 m³当り _____ 円 [Co 雑割材・ _____]は、_____市・町・村_____地内 _____工事現場に運搬（片道運搬距離_____km）するものとする。 コンクリート塊、アスファルト塊、建設発生木材等は、再生資源として、下記の再資源化施設への搬出を見込んでいる。これは、他の施設へ搬出を妨げるものではないが搬出先を変更する場合は理由を付して協議を行うこと。 再資源化施設業者等と書面による委託契約を行うとともに、運搬車両ごとに manifests を発行するものとする。 なお、再資源化施設へ搬出が完了したときは、書面により報告すること。 コンクリート塊 <u>米子 市→町→村 淀江町稲吉</u> 地内の <u>（株）大協組</u>（運搬距離 <u>6.0</u> km）、費用 1 t 当り <u>800</u> 円 アスファルト塊 <u>米子 市→町→村 和田町</u> 地内の <u>カネックス（株）</u>（運搬距離 <u>14.8</u> km）、費用 1 t 当り <u>1,300</u> 円 その他（鉄くず） <u>米子 市→町→村 夜見町</u> 地内の <u>（有）大成商事</u>（運搬距離 <u>9.5</u> km）、費用 1 t 当り <u>-40,000</u> 円 その他（廃プラスチック） <u>米子 市→町→村 和田町</u> 地内の <u>（株）山陰列エー</u>（運搬距離 <u>14.8</u> km）、費用 1 m³ 当り <u>6,500</u> 円 8 時～17 時（平日） ア 路盤材、土砂、金属片等が、混入していないこと。 イ コンクリート塊、アスファルト塊の径は 500mm 以下であること。 ウ 建設発生木材に関しては、泥等の付着がなく、径 _____cm 以下、長さ _____m 以下であること。 エ 2 次公害発生のある恐れがある物質（廃油等）を含まないこと。 建設発生木材は _____市・町・村 _____地内の _____への搬出（片道運搬距離 _____km）を想定し、 _____円を見込んでいる。これは、他の木材市場等への売却を妨げるものではないが、売却先を変更する場合は理由を付して協議すること。 _____については、 _____市・町・村 _____地内の産業廃棄物処理場への搬出（片道運搬距離 _____km）を想定し、その費用として 1 t 当たり _____円を見込んでいる。これは、他の施設へ搬出を妨げるものではないが、搬出先を変更する場合は協議を行うこと。 産業廃棄物処理業者等と書面による委託契約を行うとともに、運搬車両ごとに manifests を発行するものとする。 産業廃棄物の処理に係る税に相当する額を _____円見込んでいる。

現場説明書

特記事項3

建設副産物の使用	① (建設発生土の使用) ② (再生資材の使用)	_____ 工事から [当該工事運搬・相手方運搬] の建設発生土を受入れ、使用箇所：_____ に使用する。 1) C 〇 雑割材は、_____ 工事から運搬し、使用箇所：_____ に使用する。 2) アスファルト・コンクリート切削殻は、_____ 工事から運搬し、使用箇所：_____ に使用する。 3) ・再生クラッシャーラン [規格： RC-40] は、使用箇所：_____ 路盤 _____ に使用する。 ・再生コンクリート砂 [規格： _____] は、使用箇所：_____ に使用する。 4) 再生加熱アスファルト混合物 [規格： 再生密粒度 As] は、使用箇所：_____ 表層 _____ に使用する。 5) その他再生資材 [資材名： _____] [規格： _____] は、使用箇所：_____ に使用する。
工事用道路	① (農地の一時転用について) ② (農地の賃貸借)	本工事を施工するために必要な仮設道路等を農地に設置する目的で、受注者が農地を借地する場合は、事前に所轄農業委員会と協議を行い、農地法第5条第1項に基づく農地一時転用の許可を得ること。 ア _____ 工事用道路 _____ の用途に使用するため、_____ 米子市 淀江町 中間 _____ 市・町・村 _____ 1105 番、1106 番、1107 番 _____ を賃貸借すること。 イ 土地賃貸借契約書に「米子市との建設工事請負契約に基づき、土地の貸借権は米子市が有することとし、原状復旧の責は米子市が負い、受注者がその任に当たるものとする。」を明記すること。 ウ 賃貸人に賃貸借料を支払うこと。 エ 工事完了後、速やかに農地の原状に復旧すること。 オ イにより契約した地番における、農地一時転用許可は不要である。
仮設備		

現場説明書

特記事項4

その他	①（労災補償に必要な保険の付保）	本工事において、請負者は労災補償に必要な任意の保険契約を締結すること。なお、この労災補償に必要な保険契約の保険料を予定価格に反映している。												
	②（現場環境改善）	本工事は、現場環境改善（率計上分）実施対象工事と〔するしない〕。 下表の内容のうち原則として各費目（仮設備関係、営繕関係、安全関係及び地域連携）ごとに1実施内容ずつ（いずれか1項目のみ2実施内容）の合計5つの実施内容を実施すること。港湾及び漁港事業は、項目に防災・危機管理関係を含めることができる。 実施に当たっては、施工計画書に実施内容及び実施時期を記載し、実施後に監督員に写真等を提出すること。 地域の状況・工事内容により組み合わせ、費目数及び実施内容を変更する場合は、原則として設計変更は行わないが、その内容（目的に資するものであること）について監督員の確認を受けること。 1内容も実施困難な場合は、監督員と協議の上、設計変更により率計上は行わない。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>計上費目</th> <th>実施内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>仮設備関係</td> <td>1. 用水・電力等の供給設備, 2. 緑化・花壇 3. ライトアップ施設, 4. 見学路及び椅子の設置 5. 昇降設備の充実, 6. 環境負荷の低減</td> </tr> <tr> <td>営繕関係</td> <td>1. 現場事務所の快適化（女性用更衣室の設置を含む） 2. 労働者宿舎の快適化 3. デザインボックス（交通誘警備員待機室） 4. 現場休憩所の快適化 5. 健康関連設備及び厚生施設の充実等</td> </tr> <tr> <td>安全関係</td> <td>1. 工事標識・照明・安全具等安全施設のイメージアップ（電光式標識等） 2. 盗難防止対策（警報機等） 3. 避暑（熱中症予防）・防寒対策</td> </tr> <tr> <td>地域連携</td> <td>1. 完成予想図, 2. 工法説明図, 3. 工事工程表 4. デザイン工事看板（各工事PR看板含む） 5. 見学会等の開催（イベント等の実施含む） 6. 見学所（インフォメーションセンター）の設置及び管理運営 7. パンフレット・工法説明ビデオ 8. 地域対策費等（地域行事等の経費を含む） 9. 社会貢献</td> </tr> <tr> <td>防災・危機管理関係（港湾・漁港事業）</td> <td>1. 防災訓練（地震・台風等の自然災害に対する訓練）</td> </tr> </tbody> </table>	計上費目	実施内容	仮設備関係	1. 用水・電力等の供給設備, 2. 緑化・花壇 3. ライトアップ施設, 4. 見学路及び椅子の設置 5. 昇降設備の充実, 6. 環境負荷の低減	営繕関係	1. 現場事務所の快適化（女性用更衣室の設置を含む） 2. 労働者宿舎の快適化 3. デザインボックス（交通誘警備員待機室） 4. 現場休憩所の快適化 5. 健康関連設備及び厚生施設の充実等	安全関係	1. 工事標識・照明・安全具等安全施設のイメージアップ（電光式標識等） 2. 盗難防止対策（警報機等） 3. 避暑（熱中症予防）・防寒対策	地域連携	1. 完成予想図, 2. 工法説明図, 3. 工事工程表 4. デザイン工事看板（各工事PR看板含む） 5. 見学会等の開催（イベント等の実施含む） 6. 見学所（インフォメーションセンター）の設置及び管理運営 7. パンフレット・工法説明ビデオ 8. 地域対策費等（地域行事等の経費を含む） 9. 社会貢献	防災・危機管理関係（港湾・漁港事業）	1. 防災訓練（地震・台風等の自然災害に対する訓練）
	計上費目	実施内容												
	仮設備関係	1. 用水・電力等の供給設備, 2. 緑化・花壇 3. ライトアップ施設, 4. 見学路及び椅子の設置 5. 昇降設備の充実, 6. 環境負荷の低減												
	営繕関係	1. 現場事務所の快適化（女性用更衣室の設置を含む） 2. 労働者宿舎の快適化 3. デザインボックス（交通誘警備員待機室） 4. 現場休憩所の快適化 5. 健康関連設備及び厚生施設の充実等												
	安全関係	1. 工事標識・照明・安全具等安全施設のイメージアップ（電光式標識等） 2. 盗難防止対策（警報機等） 3. 避暑（熱中症予防）・防寒対策												
	地域連携	1. 完成予想図, 2. 工法説明図, 3. 工事工程表 4. デザイン工事看板（各工事PR看板含む） 5. 見学会等の開催（イベント等の実施含む） 6. 見学所（インフォメーションセンター）の設置及び管理運営 7. パンフレット・工法説明ビデオ 8. 地域対策費等（地域行事等の経費を含む） 9. 社会貢献												
	防災・危機管理関係（港湾・漁港事業）	1. 防災訓練（地震・台風等の自然災害に対する訓練）												
	③（経費対象外工種）	<u>鋼矢板切断に伴うスクラップ費用</u> については間接工事費、一般管理費等の対象額には含めない。												
	④（役務費）	本工事における借地料として、 <u>233,000 円</u> を見込んでいます。												
⑤（工事用道路）	工事用道路設置場所の農地（田）については令和6年11月中旬まで耕作されていることから、耕作完了後に着手すること。また農地の原形復旧については令和7年3月中旬までに行うこと。													
⑥（公共残土利用）	本工事に使用する土砂については、米子市奥谷地内の奥谷池公共残土置場より運搬するものとする。工事用道路撤去時は同地に再びに運搬し、敷均しすること。													

※明示する項目を_____部分に記入又は追記し、不要部分は――で削除して使用すること。

建築物以外のものに係る解体工事又は新築工事等(土木工事等)

分別解体等の計画等

工作物の構造 (解体工事のみ)		☐ 鉄筋コンクリート造 ☐ その他()	
工事の種類		☐ 新築工事 ☐ 維持・修繕工事 ☐ 解体工事 ☐ 電気 ☐ 水道 ☐ ガス ☐ 下水道 ☐ 鉄道 ☐ 電話 ☒ その他(河川護岸改修工事)	
使用する特定建設資材の種類 (新築・維持・修繕工事のみ)		☒ コンクリート ☐ コンクリート及び鉄から成る建設資材 ☒ アスファルト・コンクリート ☐ 木材	
工作物に関する調査の結果	工作物の状況	築年数 ____ 年 その他()	
	周辺状況	周辺にある施設 ☐ 住宅 ☒ 商業施設 ☐ 学校 ☐ 病院 ☐ その他() 敷地境界との最短距離 約 ____ 0 ____ m その他()	
工作物に関する調査の結果及び工事着手前に実施する措置の内容		工作物に関する調査の結果	工事着手前に実施する措置の内容
	作業場所	作業場所 ☒ 十分 ☐ 不十分 その他()	
	搬出経路	障害物 ☐ 有() ☒ 無 前面道路の幅員 約 ____ 4 ____ m 通学路 ☐ 有 ☒ 無 その他()	
	特定建設資材への付着物(解体・維持・修繕工事のみ)	☐ 有() ☒ 無	
	その他		周辺住民への周知
工程ごとの作業内容及び解体方法	工程	作業内容	分別解体等の方法 (解体工事のみ)
	①仮設	仮設工事 ☒ 有 ☐ 無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用
	②土工	土工事 ☒ 有 ☐ 無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用
	③基礎	基礎工事 ☐ 有 ☒ 無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用
	④本体構造	本体構造の工事 ☒ 有 ☐ 無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用
	⑤本体付属品	本体付属品の工事 ☐ 有 ☒ 無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用
	⑥その他 (構造物撤去工)	その他の工事 ☒ 有 ☐ 無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用
工事の工程の順序 (解体工事のみ)		☐ 上の工程における⑤→④→③の順序 ☐ その他() その他の場合の理由()	
工作物に用いられた建設資材の量の見込み(解体工事のみ)		トン	
廃棄物発生見込量	特定建設資材廃棄物の種類ごとの量の見込み(全工事)並びに特定建設資材が使用される工作物の部分(新築・維持・修繕工事のみ)及び特定建設資材廃棄物の発生が見込まれる工作物の部分(維持・修繕・解体工事のみ)	種類	使用部分又は発生が見込まれる部分(注)
		☒ コンクリート塊	44トン ☐ ① ☐ ② ☐ ③ ☐ ④ ☐ ⑤ ☒ ⑥
		☒ アスファルト・コンクリート塊	59トン ☐ ① ☐ ② ☐ ③ ☐ ④ ☐ ⑤ ☒ ⑥
		☐ 建設発生木材	____ トン ☐ ① ☐ ② ☐ ③ ☐ ④ ☐ ⑤ ☐ ⑥
(注) ①仮設 ②土工 ③基礎 ④本体構造 ⑤本体付属品 ⑥その他			
備考			

□欄には、該当箇所に「レ」を付すこと。

総括情報表

頁0-0001

事務所 設計書名 変更回数 事業名 適用単価区分 適用単価地区 単価適用日 諸経費体系 ファイル名	54 米子市 設計書 当初 06-*****-06004-10 0 1 実施単価 33 米子市 淀江町 00-06.08.10(0) 1 公共				
	当 世 代	前 世 代		当 世 代	前 世 代
工種 現場環境改善費 施工地域 緊急工事 契約保証区分 豪雪割増 工事価格端数処理 工期算定区分 ICT施工有無 冬期補正係数 週休二日補正係数	01 河川 01 率計上する（地方部） 13 一般交通影響有り(2) 00 通常工事 0 % 01 金銭保証（0．0 4 %） 01 豪雪割増あり 00 千円止め（土木） 01 算出する 00 ICT施工を使用しない 00 0 級地 0．0 % 12 月単位の週休 2 日				

本工事費 内訳書

頁0-0002

費目・工種・施工名称など		数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
本工事費							X1000
築堤・護岸							Y1A01 (レ^\ Ⅱ1)
				一式			
河川土工							Y1A0101 (レ^\ Ⅱ2)
				一式			
掘削工							Y1A010101 (レ^\ Ⅲ3)
				一式			
掘削							Y1A01010101 (レ^\ Ⅳ4)
				m3			
掘削 土砂 片切掘削							SPK23040001 00 A=1,B=2
		120		m3			単第0 -0019 表 060810
盛土工							Y1A010103 (レ^\ Ⅲ3)
				一式			
路床盛土							Y1A01010302 (レ^\ Ⅳ4)
				m3			
路床盛土 施工幅員2.5m未満							SPK23040005 00 A=1
		80		m3			単第0 -0020 表 060810

本工事費 内訳書

頁0-0003

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
河床盛土					Y4999 (レ^\JL4)
		m 3			
河床盛土 施工幅員4.0m以上 施工数量10,000m3未満 障害無し 既設石積転用	70	m3			SPK23040005 00 A=3,B=1,C=1 単第0 -0001 表 060810
河床盛土 施工幅員4.0m以上 施工数量10,000m3未満 障害無し 割栗石	50	m 3			GKM01 科目内訳0001号表
土砂等運搬					Y1A01010303 (レ^\JL4)
		m3			
土砂等運搬 標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む) D1D区間無し 距離11.5km以下(9.5km超)	120	m3			SPK23040002 00 A=1,B=1,C=1,D=1,E=33 単第0 -0010 表 060810
矢板護岸工					Y1A0106 (レ^\JL2)
		一式			
作業土工					Y1A010601 (レ^\JL3)
		一式			
床掘り					Y1A01060102 (レ^\JL4)
		m3			
床掘り 土砂 標準 無し 障害無し	160	m3			SPK23040015 00 A=1,B=1,C=1,D=1,E=1 単第0 -0021 表 060810

本工事費 内訳書

頁0-0004

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
笠コンクリート工					Y1A010603 (レベル3)
		一式			
笠コンクリート					Y1A01060301 (レベル4)
		m			
笠コンクリート σ ck=24N/mm2					GKC01
	113	m			科目内訳0002号表
矢板工					Y1A010604 (レベル3)
		一式			
鋼矢板					Y1A01060401 (レベル4)
		枚			
鋼矢板油圧圧入工(Nmax 25) 陸上施工 10H型 圧入長(m)_9以下(6超)					S0440 00 A=1,B=9,C=2
	3	枚			単第0 -0022 表 060810
鋼矢板油圧圧入工(Nmax 25) 陸上施工 10H型 圧入長(m)_9以下(6超)					S0440 00 A=1,B=9,C=2
	122	枚			単第0 -0022 表 060810
油圧式杭圧入引抜機自走装置の取付・取外					V1001 00
鋼矢板圧入引抜標準積算資料	1	回			単第0 -0025 表 060810
油圧式杭圧入引抜機の自走					V1002 00
鋼矢板圧入引抜標準積算資料	125	枚			単第0 -0026 表 060810

本工事費 内訳書

頁0-0005

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
鋼矢板購入費 ハット型 10H (86.4kg/m) 新品 建設物価 4頁	1	一式			GKY01 科目内訳0003号表
油圧式杭圧入引抜機据付・解体 圧入 (Nmax 25) 10H型	1	回			S0458 00 A=1, B=9, C=1 単第0 -0027 表 060810
ガス切断 鋼矢板	3	箇所			S0180 00 A=3 単第0 -0028 表 060810
1号間詰めコンクリート $\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$ 下流側	1	箇所			GMC01 科目内訳0004号表
2号間詰めコンクリート $\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$ 上流側	1	箇所			GMC02 科目内訳0005号表
現場発生品運搬		回			Y1A01141603 (レバ Ⅱ4)
現場発生品及び支給品運搬 クレーン装置付BT2t級2.9t吊 片道運搬距離11.5km以下(9.0km超)	0.4	t			SPK23040410 00 A=1, B=2, C=11 単第0 -0029 表 060810
スクラップ 鉄くず ヘビー H 1	0.4	t			TTU0052 00 060810 8
付帯道路工		一式			Y1A0111 (レバ Ⅱ2)

本工事費 内訳書

頁0-0006

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
路側防護柵工					Y1A011101 (レバ Ⅲ3)
		一式			
ガードレール					Y1A01110101 (レバ Ⅳ4)
		m			
防護柵設置工(Gr) コンクリート建込 - 塗装品_Gr-C-2B [規]100m以上					SS000123 00 A=1,B=3,C=1,D=1,E=1,F=1,G=1,H=1,I=1
	113	m			単第0 -0030 表 060810
アスファルト舗装工					Y1A011106 (レバ Ⅲ3)
		一式			
下層路盤(車道・路肩部)					Y1A01110601 (レバ Ⅳ4)
		m2			
下層路盤(車道・路肩部) 全仕上り厚 1 5 0 mm 1層施工 RC-40					SPK23040232 00 A=150,B=4,D=1
	235	m2			単第0 -0031 表 060810
上層路盤(車道・路肩部)					Y1A01110603 (レバ Ⅳ4)
		m2			
上層路盤(車道・路肩部) M-30 全仕上り厚 1 0 0 mm 1層施工					SPK23040234 00 A=6,E=100,H=1
	235	m2			単第0 -0032 表 060810
表層(車道・路肩部)					Y1A01110609 (レバ Ⅳ4)
		m2			

本工事費 内訳書

頁0-0007

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
表層(車道・路肩部) 平均幅員3.0m超 1層当り平均仕上厚 5 0 mm					SPK23040241 00 A=4,B=50,C=6,E=2,G=1,H=1,I=1
	504	m2			単第0 -0033 表 060810
構造物撤去工					Y1A0114 (レバ Ⅱ2)
		一式			
構造物取壊し工					Y1A011406 (レバ Ⅲ3)
		一式			
コンクリート構造物取壊し					Y1A01140601 (レバ Ⅳ4)
		m3			
構造物とりこわし工(無筋構造物) 機械施工					SDT00031 00 A=1,B=1,C=1,D=1
	19	m3			単第0 -0034 表 060810
構造物とりこわし工(鉄筋構造物) 機械施工					SDT00033 00 A=1,B=1,C=1,D=1
	1	m3			単第0 -0035 表 060810
舗装版切断					Y1A01140602 (レバ Ⅳ4)
		m			
舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下					SPK23040306 00 A=1,B=1,E=1
	15	m			単第0 -0036 表 060810
舗装版破碎					Y1A01140603 (レバ Ⅳ4)
		m2			

本工事費 内訳書

頁0-0008

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
舗装版破碎 アスファルト舗装版 障害無し 舗装版厚15cm以下	504	m2			SPK23040305 00 A=1, B=1, C=1, D=1, F=1, G=1 単第0 -0037 表 060810
運搬処理工		一式			Y1A011416 (レバ Ⅲ3)
殻運搬		m3			Y1A01141601 (レバ Ⅳ4)
殻運搬 Co(無筋)構造物とりこわし DID区間無し 運搬距離8.0km以下(5.7km超)	19	m3			SPK23040152 00 A=1, B=1, C=1, D=34, E=1 単第0 -0038 表 060810
殻運搬 Co(鉄筋)構造物とりこわし DID区間無し 運搬距離8.0km以下(5.7km超)	1	m3			SPK23040152 00 A=2, B=1, C=1, D=34, E=1 単第0 -0039 表 060810
殻運搬 舗装版破碎 DID区間有り 運搬距離19.5km以下(10.5km超)	25	m3			SPK23040152 00 A=3, B=3, C=2, D=57, E=1 単第0 -0040 表 060810
現場発生品及び支給品運搬 クレーン装置付BT2t級2.9t吊 片道運搬距離17.0km以下(14.0km超)	0.4	t			SPK23040410 00 A=1, B=2, C=14 単第0 -0041 表 060810
殻処分		m3			Y1A01141602 (レバ Ⅳ4)
投棄料		一式			#0041 C=投棄料

本工事費 内訳書

頁0-0009

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
コンクリート殻処分料 無筋・有筋						TTV0440 00
	44	t				060810
アスファルト殻処分料						TTV0441 00
	59	t				060810
廃プラスチック処分料						TTV0442 00
	1	m3				060810
仮設工						Y1A0115 (レ^\ Ⅱ2)
			一式			
工事用道路工						Y1A011501 (レ^\ Ⅲ3)
			一式			
工事用道路盛土						Y1A01150101 (レ^\ Ⅳ4)
			m3			
工事用道路設置						GKD01
	1		一式			科目内訳0006号表
工事用道路撤去						GKD02
	1		一式			科目内訳0007号表
土のう						Y1A01150111 (レ^\ Ⅳ4)
			袋			

本工事費 内訳書

頁0-0010

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
流用土運搬					G0D01
	139	m3			科目内訳0008号表
大型土のう製作					S0821 00 A=3650, B=1
	139	袋			単第0 -0042 表 060810
大型土のう設置・撤去 作業半径6m以下					S0822 00 A=1, B=1
	139	袋			単第0 -0044 表 060810
大型土のう設置・撤去 作業半径6m以下					S0822 00 A=2, B=1
	139	袋			単第0 -0046 表 060810
仮水路工					Y1A011508 (レ^\ Ⅱ3)
		一式			
暗渠排水管					Y1A01150803 (レ^\ Ⅱ4)
		m			
暗渠排水管 据付・撤去 波状管及び網状管 200～400mm シングル 合成樹脂排水材 呼び径300mm					SPK23040092 00 A=3, B=2, C=2, D=35, F=1, G=4, I=1
	23	m			単第0 -0048 表 060810
暗渠排水管 据付・撤去 波状管及び網状管 450～600mm シングル 合成樹脂排水材 呼び径600mm					SPK23040092 00 A=3, B=2, C=3, D=40, F=1, G=4, I=1
	36	m			単第0 -0049 表 060810
交通管理工					Y1A011521 (レ^\ Ⅱ3)
		一式			

本工事費 内訳書

頁0-0011

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
交通誘導警備員									Y1A01152101 (レベル4)	
				人						
交通誘導警備員A									R0368 00	
	122			人						060810 1
交通誘導警備員B									R0369 00	
	31			人						060810 1
* * 直接工事費 * *										
役務費									Z0003	
借地料									W0001	
	1			式						
運搬費									Z0004	
仮設材等(鋼矢板,H鋼,覆工板,敷鉄板等)運搬 運搬距離 1 0 km 製品長 12m以内									S1000007 00 A=10,B=1,C=1,D=1,E=175,F=1,H=1,J=1,L=1	
	1			一式					単第0 -0050 表	060810
現場環境改善費									Z0012	

本工事費 内訳書

頁0-0012

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
共通仮設費						
* * 共通仮設費計 * *						
* * 純工事費 * *						
現場管理費						
* * 工事原価 * *						
一般管理費率分						
契約保証費						
一般管理費計						
* * 工事価格 * *						

本工事費 内訳書

頁0-0013

費目・工種・施工名称など		数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
消費税相当額							
工事費計							

河床盛土

科目内訳表

GKM01		科目内訳0001号表		100		m 3	当り
施工幅員4.0m以上		施工数量10,000m3未満 障害無し		割栗石			
施 工 名 称 な ど		数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
河床盛土							SPK23040005 00
施工幅員4.0m以上							A=3,B=1,C=1
施工数量10,000m3未満 障害無し		100		m3			単第0 -0001 表
割栗石							TTPC00006 00
5 0 - 1 5 0 mm		100		m3			
*** 合計 ***		100		m 3			
*** 単位当たり ***		1		m 3			

笠コンクリート

GKC01

科目内訳表

科目内訳0002号表

頁0-0015

σ ck=24N/mm2

113 m 当り

施 工 名 称 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 24-12-25(20)BB コンクリートポンプ車打設					SPK23040154 00 A=1,B=1,C=1,E=1,F=2,G=1,J=1,K=1
	68.06	m3			単第0 -0002 表
鉄筋工 SD345_D13 一般構造物 [規]10t未満					SS000099 00 A=1,B=5,D=1,E=1,F=2,H=1,I=1,J=1,K=1
	2.901	t			単第0 -0003 表
型枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物					SPK23040156 00 A=1,B=1,C=1
	268.1	m2			単第0 -0004 表
円筒型枠材料費					S3274 00 A=2850
	25.2	m			単第0 -0005 表
目地板 1工事当り使用量30m2未満 瀝青繊維質目地板 t=10mm					SPK23040122 00 A=1,B=1
	8.4	m2			単第0 -0006 表
*** 合計 ***					
	113	m			
*** 単位当たり ***					
	1	m			

鋼矢板購入費

ハット型 10H (86.4kg/m)

新品

GKY01

科目内訳表

建設物価 4頁

科目内訳0003号表

頁0-0016

1 式 当り

施 工 名 称 な ど		数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
鋼矢板購入費 ハット型 10H (86.4kg/m) 市中価格 土木工事標準積算基準 -5-1-3							KKY001 00
		87		t			
* * * 単位当たり * * *							
		1		式			

1号間詰めコンクリート

σ ck=18N/mm2

下流側

GMC01

科目内訳表

科目内訳0004号表

頁0-0017

1箇所当り

施 工 名 称 な ど		数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
コンクリート 小型構造物 18-8-40BB バックホウ(クレーン機能付)打設							SPK23040154 00 A=2,B=2,C=2,F=2,J=1,K=1
		0.29	m3				単第0 -0007 表
型枠 一般型枠 小型構造物							SPK23040156 00 A=1,B=2,C=1
		0.8	m2				単第0 -0008 表
*** 単位当たり ***							
		1	箇所				

2号間詰めコンクリート

σ ck=18N/mm2

上流側

GMC02

科目内訳表

科目内訳0005号表

頁0-0018

1箇所当り

施 工 名 称 な ど		数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
コンクリート 小型構造物 18-8-40BB バックホウ(クレーン機能付)打設							SPK23040154 00 A=2,B=2,C=2,F=2,J=1,K=1
		0.39	m3				単第0 -0007 表
型枠 一般型枠 小型構造物							SPK23040156 00 A=1,B=2,C=1
		1.0	m2				単第0 -0008 表
*** 単位当たり ***							
		1	箇所				

工事用道路設置

GKD01

科目内訳表

科目内訳0006号表

頁0-0019

1 式 当り

施 工 名 称 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
掘削 土砂 オープンカット 押土無し 障害無し 5,000m3未満	360	m3			SPK23040001 00 A=1,B=1,C=2,D=1,E=3 単第0 -0009 表
掘削 土砂 オープンカット 押土無し 障害無し 5,000m3未満	1,600	m3			SPK23040001 00 A=1,B=1,C=2,D=1,E=3 単第0 -0009 表
土砂等運搬 標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間無し 距離11.5km以下(9.5km超)	1,600	m3			SPK23040002 00 A=1,B=1,C=1,D=1,E=33 単第0 -0010 表
路体(築堤)盛土 施工幅員4.0m以上 施工数量10,000m3未満 障害無し	1,600	m3			SPK23040004 00 A=3,B=1,C=1 単第0 -0011 表
ブルーシート設置 吸出し防止材(各種)	1,411	m2			SPK23040121 00 A=2,B=44 単第0 -0012 表
敷鉄板設置	1,017	m2			S1050041 00 単第0 -0013 表
敷鉄板賃料 22×1524×3048,802kg/枚 賃貸期間 1 1 0 日	219	枚			S1050029 00 A=3,B=1,C=110,D=1 単第0 -0015 表
*** 単位当たり ***	1	式			

工事用道路撤去

GKD02

科目内訳表

科目内訳0007号表

頁0-0020

1 式 当り

施 工 名 称 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
掘削 土砂 オープンカット 押土無し 障害無し 5,000m3未満	1,600	m3			SPK23040001 00 A=1,B=1,C=2,D=1,E=3 単第0 -0009 表
土砂等運搬 標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間無し 距離11.5km以下(9.5km超)	1,700	m3			SPK23040002 00 A=1,B=1,C=1,D=1,E=33 単第0 -0010 表
整地 敷均し(ルーズ) 標準(10,000m3未満) 障害無し 耕土	280	m3			SPK23040003 00 A=2,B=1,C=1 単第0 -0016 表
整地 残土受入れ地での処理 残土	1,700	m3			SPK23040003 00 A=1 単第0 -0017 表
ブルーシート撤去	1,411	m ²			W0002
敷鉄板撤去	1,017	m2			S1050043 00 単第0 -0018 表
*** 単位当たり ***	1	式			

科目内訳表

100 m3 当り

施 工 名 称 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
掘削 土砂 オープンカット 押土無し 障害無し 5,000m3未満					SPK23040001 00 A=1,B=1,C=2,D=1,E=3
	100	m3			単第0 -0009 表
土砂等運搬 標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間無し 距離11.5km以下(9.5km超)					SPK23040002 00 A=1,B=1,C=1,D=1,E=33
	100	m3			単第0 -0010 表
*** 合計 ***					
	100	m3			
*** 単位当たり ***					
	1	m3			

施工単価表

頁0-0022

河床盛土
施工幅員4.0m以上

SPK23040005

施工数量10,000m3未満 障害無し

単第0 -0001 表

1

m3 当り

機械構成比： 19.31%

労務構成比：

63.43%

材料構成比： 17.26%

市場単価構成比： 0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
<賃>ブルドーザ 湿地 7t級	9.95%		<賃>ブルドーザ 湿地,7t級 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音		KTPC00036 KTPT00036
<賃>振動ローラ(フラットシングルドラム型) 質量11～12t	9.36%		振動ローラ(土工用) [フラット・シングルドラム型] 質量11～12t		KTPC00058 KTPT00058
特殊運転手	43.02%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	20.41%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 小型ローリー(パトロール給油)	17.26%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=3 施工幅員4.0m以上 C=1 障害無し			B=1 施工数量10,000m3未満		

施工単価表

頁0-0023

コンクリート

SPK23040154

単第0 -0002 表

無筋・鉄筋構造物 24-12-25(20)BB

コンクリートポンプ車打設

1

m3 当り

機械構成比： 4.79% 労務構成比： 18.34% 材料構成比： 76.87% 市場単価構成比： 0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
コンクリートポンプ車 トラック架装・ブーム式 圧送能力90～110m3/h	4.75%		コンクリートポンプ車 トラック架装・ブーム式 圧送能力90～110m3/h		MTPC00050 MTPT00050
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	9.54%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	3.19%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	3.17%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊運転手	1.95%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C55%以下	75.88%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPC00343 TTPT00343
軽油 小型ローリー（パトロール給油）	0.99%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

頁0-0024

コンクリート

SPK23040154

単第0 -0002 表

無筋・鉄筋構造物 24-12-25(20)BB

コンクリートポンプ車打設

1

m3 当り

機械構成比： 4.79%

労務構成比： 18.34%

材料構成比： 76.87%

市場単価構成比： 0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
積算単価			積算単価		E9999
A=1 無筋・鉄筋構造物			B=1 コンクリートポンプ車打設		
C=1 24-12-25(20)BB			E=1 設計日打設量10m3以上100m3未満		
F=2 一般養生			G=1 圧送管延長距離延長無し		
J=1 -			K=1 -(全ての費用)		

施 工 単 価 表

単第0 -0003 表

SS000099

一般構造物 [規]10t未満

鉄筋工
SD345 D13

1 t 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
鉄筋工 加工・組立共	1.000	t			TSPC00001
異形棒鋼 S D 3 4 5 D 1 3	1.030	t			TTPC00001 1*1.03
諸雑費	1	一式			#91
*** 単位当たり ***	1	t			
A=1 - D=1 一般構造物 F=2 [規]10t未満			B=5 SD345_D13 E=1 - H=1 -		
I=1 - K=1 -			J=1 -		

施工単価表

頁0-0026

型枠

SPK23040156

単第0 -0004 表

一般型枠

鉄筋・無筋構造物

1

m2 当り

機械構成比： 0.00% 労務構成比： 100.00% 材料構成比： 0.00% 市場単価構成比： 0.00% 標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
型わく工	46.99%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	25.08%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	9.24%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 一般型枠 C=1 -(全ての費用)			B=1 鉄筋・無筋構造物		

円筒型枠材料費

S3274

施 工 単 価 表

単第0 -0005 表

頁0-0027

1 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
円形型枠 φ 200 × 4 × 4,000	1.000	m			F0000002850 建設物価 173頁
*** 単位当たり ***	1	m			
A=2850 【F】円筒型枠(m)					

施 工 単 価 表

頁0-0028

目地板

SPK23040122

単第0 -0006 表

1工事当り使用量30m2未満

瀝青繊維質目地板 t=10mm

1

m2 当り

機械構成比： 0.00%

労務構成比：

63.91%

材料構成比：

36.09%

市場単価構成比：

0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
普通作業員	47.33%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	16.27%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
目地板 瀝青繊維質板 厚10mm	36.09%		瀝青繊維質目地板 厚さ10mm		TTPC00199 TTPT00199
積算単価			積算単価		EP001
A=1 1工事当り使用量30m2未満			B=1 瀝青繊維質目地板 t=10mm		

施 工 単 価 表

SPK23040154

単第0 -0007 表

1

m3 当り

コンクリート

小型構造物 18-8-40BB

バックホウ(クレーン機能付)打設

機械構成比: 4.19%

労務構成比:

40.17%

材料構成比: 55.64%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン付) 山積0.8m3(平積0.6m3) 吊能力2.9t	3.96%		バックホウ [クローラ型クレーン付] 排ガス型(第2次)山積0.8m3吊2.9t		KTPC00006 KTPT00006
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	11.83%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	10.94%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	8.07%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊運転手	6.71%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート 高炉 18-8-40 W/C60%以下	53.56%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPCD0010 TTPT00343
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	1.97%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

頁0-0030

コンクリート

SPK23040154

単第0 -0007 表

小型構造物 18-8-40BB

バックハウ(クレーン機能付)打設

1

m3 当り

機械構成比: 4.19%

労務構成比: 40.17%

材料構成比: 55.64%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=2 小型構造物 C=2 18-8-40BB J=1 -			B=2 バックハウ(クレーン機能付)打設 F=2 一般養生 K=1 -(全ての費用)		

施工単価表

頁0-0031

型枠

SPK23040156

単第0 -0008 表

一般型枠

小型構造物

1

m2 当り

機械構成比： 0.00% 労務構成比： 100.00% 材料構成比： 0.00% 市場単価構成比： 0.00% 標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
型わく工	44.66%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	30.77%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	11.53%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 一般型枠 C=1 -(全ての費用)			B=2 小型構造物		

施工単価表

頁0-0032

掘削
土砂 オープンカット 押土無し

SPK23040001

障害無し 5,000m3未満

単第0 -0009 表

1

m3 当り

機械構成比： 45.14% 労務構成比： 34.64% 材料構成比： 20.22% 市場単価構成比： 0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
バックホウ(クローラ型) 標準型・超低騒音型・排3 山積0.8/平積0.6m3	45.14%		バックホウ(クローラ型) 標準型・超低騒音型・排3 山積0.8/平積0.6m3		MTPC00128 MTPT00128
特殊運転手	34.64%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 小型ローリー(パトロール給油)	20.22%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂 C=2 押土無し E=3 5,000m3未満			B=1 オープンカット D=1 障害無し		

施工単価表

頁0-0033

土砂等運搬

SPK23040002

単第0 -0010 表

標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む)

DID区間無し 距離11.5km以下(9.5km超)

1

m3 当り

機械構成比: 46.25% 労務構成比:

38.07%

材料構成比: 15.68%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	46.25%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
一般運転手	38.07%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 小型ローリー(パトロール給油)	15.68%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 標準 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) E=33 距離11.5km以下(9.5km超)			B=1 バックホウ山積0.8m3(平積0.6m3) D=1 DID区間無し		

施工単価表

頁0-0034

路体(築堤)盛土
施工幅員4.0m以上

SPK23040004

施工数量10,000m3未満 障害無し

単第0 -0011 表

1

m3 当り

機械構成比: 18.74%

労務構成比:

64.69%

材料構成比: 16.57%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
<賃>ブルドーザ 湿地 7t級	11.51%		<賃>ブルドーザ 湿地,7t級 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音		KTPC00036 KTPT00036
<賃>振動ローラ(フラットシングルドラム型) 質量11~12t	7.23%		振動ローラ(土工用) [フラット・シングルドラム型] 質量11~12t		KTPC00058 KTPT00058
特殊運転手	43.87%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	20.82%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 小型ローリー(パトロール給油)	16.57%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=3 施工幅員4.0m以上 C=1 障害無し			B=1 施工数量10,000m3未満		

施 工 単 価 表

SPK23040121

単第0 -0012 表

ブルーシート設置
吸出し防止材(各種)

機械構成比： 0.00% 労務構成比： 25.39% 材料構成比： 74.61% 市場単価構成比： 0.00% 標準単価： 1 m2 当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
普通作業員	21.67%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	3.72%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
ブルーシート(ポリエチレン製) #2000	74.61%		不織布(合織) 厚10mm,強度9.8kN/m		F0000000044 TTPT00048
土木工事実施設計単価表 45頁 積算単価			積算単価		EP001
A=2 吸出し防止材(各種)			B=44 【F】吸出し防止材(m2)		

施 工 単 価 表

100

m2

当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	0.152	人			RTPC00009 9
とび工	0.152	人			RTPC00004 9
普通作業員	0.152	人			RTPC00002 9
機-28_バックホウ運転(賃料) クレーン付2.9t吊_山積0.8m3	0.152	日			S9035 単第0-0014 表 9
諸雑費	1	%			#09
*** 合計 ***	100	m2			
*** 単位当たり ***	1	m2			
土木一般世話役 = 1 * 100 / D = 1 * 100 / 656 = 0.152(人) 小数第4位四捨五入小数第3位止め とび工 = 1 * 100 / D = 1 * 100 / 656 = 0.152(人) 小数第4位四捨五入小数第3位止め 普通作業員 = 1 * 100 / D = 1 * 100 / 656 = 0.152(人) 小数第4位四捨五入小数第3位止め バックホウ(クローラ型)運転 = 100 / D = 100 / 656 = 0.152(日) 小数第4位四捨五入小数第3位止め					

施 工 単 価 表

機-28 バックホウ運転(賃料)
クレーン付2.9t吊 山積0.8m3

S9035

単第0 -0014 表

1 日 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
特殊運転手	1.00	人			RTPC00006
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	119.00	L			TTPC00013
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン付) 山積0.8m3(平積0.6m3) 吊能力2.9t	1.06	供用日			KTPC00006
諸雑費	1	一式			#91
*** 単位当たり ***	1	日			
A=19 クレーン付2.9t吊_山積0.8m3 C=1 運転労務数量(人/日)			B=119 軽油消費量(L/日) D=1.06 機械賃料数量(供用日/日)		

S1050029

單第0 -0015 表

貸貸期間 1 1 0 日

1 枚 当り

[illegible]

施工単価表

頁0-0039

整地
敷均し(ルーズ)

SPK23040003

単第0 -0016 表

標準(10,000m3未満) 障害無し

耕土

1

m3 当り

機械構成比: 23.64% 労務構成比:

48.23%

材料構成比: 28.13%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6m3)	23.64%		バックホウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		KTPC00018 KTPT00018
特殊運転手	48.23%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 小型ローリー(パトロール給油)	28.13%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 敷均し(ルーズ) C=1 障害無し			B=1 標準(10,000m3未満)		

施 工 単 価 表

SPK23040003

単第0 -0017 表

整地
残土受入れ地での処理

残土

1

m3 当り

機械構成比： 24.02% 労務構成比： 49.00% 材料構成比： 26.98% 市場単価構成比： 0.00% 標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6m3)	24.02%		バックホウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		KTPC00018 KTPT00018
特殊運転手	49.00%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 小型ローリー(パトロール給油)	26.98%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 残土受入れ地での処理					

敷鉄板撤去

S1050043

施 工 単 価 表

単第0 -0018 表

頁0-0041

100

m2

当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	0.143	人			RTPC00009 9
とび工	0.143	人			RTPC00004 9
普通作業員	0.143	人			RTPC00002 9
機-28_バックホウ運転(賃料) クレーン付2.9t吊_山積0.8m3	0.143	日			S9035 単第0-0014 表 9
諸雑費	1	%			#09
*** 合計 ***	100	m2			
*** 単位当たり ***	1	m2			
土木一般世話役 = 1 * 100 / D = 1 * 100 / 701 = 0.143(人) 小数第4位四捨五入小数第3位止め とび工 = 1 * 100 / D = 1 * 100 / 701 = 0.143(人) 小数第4位四捨五入小数第3位止め 普通作業員 = 1 * 100 / D = 1 * 100 / 701 = 0.143(人) 小数第4位四捨五入小数第3位止め バックホウ(クローラ型)運転 = 100 / D = 100 / 701 = 0.143(日) 小数第4位四捨五入小数第3位止め					

施工単価表

頁0-0042

掘削
土砂 片切掘削

SPK23040001

単第0 -0019 表

1

m3 当り

機械構成比： 10.59% 労務構成比： 83.71% 材料構成比： 5.70% 市場単価構成比： 0.00%			標準単価： 1		
代表機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代表機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
バックホウ(クローラ型) 標準型・超低騒音型・排3 山積0.8/平積0.6m3	10.59%		バックホウ(クローラ型) 標準型・超低騒音型・排3 山積0.8/平積0.6m3		MTPC00128 MTPT00128
普通作業員	73.93%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊運転手	9.78%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 小型ローリー(パトロール給油)	5.70%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂			B=2 片切掘削		

路床盛土
施工幅員2.5m未満
機械構成比：

SPK23040005

施工単価表

単第0 -0020 表

頁0-0043

1

m3 当り

労務構成比：

98.84%

材料構成比：

0.30%

市場単価構成比：

0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
<賃>振動ローラ(ハンドガイド式) 質量0.8～1.1t	0.86%		振動ローラ(舗装用) [ハンドガイド式] 質量0.8～1.1t		KTPC00008 KTPT00008
普通作業員	88.92%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	9.92%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
軽油 小型ローリー(パトロール給油)	0.30%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 施工幅員2.5m未満					

施工単価表

頁0-0044

床掘り

土砂 標準

機械構成比：

24.08%

労務構成比：

無し 障害無し

50.56%

材料構成比：

25.36%

市場単価構成比：

0.00%

単第0 -0021 表

標準単価：

1

m3

当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6m3)	24.08%		バックホウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		KTPC00018 KTPT00018
特殊運転手	50.56%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 小型ローリー(パトロール給油)	25.36%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂 C=1 無し E=1 -(全ての費用)			B=1 標準 D=1 障害無し		

施工単価表

頁0-0045

鋼矢板油圧圧入工(Nmax 25)
陸上施工 10H型

S0440
圧入長(m) 9以下(6超)

単第0 -0022 表

10 枚 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	0.476	人			RTPC00009 9
特殊作業員	0.476	人			RTPC00001 9
とび工	0.952	人			RTPC00004 9
機-24_油圧式杭圧入引抜機運転 ハット形鋼矢板900mm用 1,000kN 排出ガス対策型3次基準	0.476	日			S9128 単第0-0023 表 10/21 9
機-18_ラフテレーンクレーン運転 25t吊 排出ガス対策型2次基準	0.476	日			S9000053 単第0-0024 表 10/21 9
諸雑費	1	%			#09
*** 合計 ***	10	枚			
*** 単位当たり ***	1	枚			
A=1 陸上施工 C=2 圧入長(m)_9以下(6超)			B=9 10H型		
土木一般世話役 = 10 / N * 1 = 10 / 21.0 * 1 = 0.476(人)		小数第4位四捨五入小数第3位止め			
特殊作業員 = 10 / N * 1 = 10 / 21.0 * 1 = 0.476(人)		小数第4位四捨五入小数第3位止め			
とび工 = 10 / N * 2 = 10 / 21.0 * 2 = 0.952(人)		小数第4位四捨五入小数第3位止め			

施 工 単 価 表

頁0-0046

機-24 油圧式杭圧入引抜機運転
ハット形鋼矢板900mm用 1,000kN

S9128
排出ガス対策型3次基準

単第0 -0023 表

1 日 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
軽油 小型ローリー（パトロール給油）	170.00	L			TTPC00013
油圧式杭圧入引抜機 エンジン式ユニット・排3 ハット形鋼矢板900mm, 圧入1000引抜1100kN	1.45	供用日15欄			M1050549
諸雑費	1	一式			#91
*** 単位当たり ***	1	日			
A=3 ハット形鋼矢板900mm用 1,000kN C=1.45 機械損料数量（供用日/日）			B=170 軽油消費量（L/日）		

施 工 単 価 表

機-18_ラフテレーンクレーン運転
25t吊

S9000053
排出ガス対策型2次基準

単第0 -0024 表

1 日 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
特殊運転手	1.00	人			RTPC00006
軽油 小型ローリー（パトロール給油）	88.00	L			TTPC00013
ラフテレーンクレーン 油圧伸縮ジブ型・排2 25t吊	1.45	供用日15欄			M1040173
諸雑費	1	一式			#91
*** 単位当たり ***	1	日			
A=1 25t吊 C=1 運転労務数量(人/日) E=1.45 機械損料数量(供用日/日)			B=3 排出ガス対策型2次基準 D=88 燃料消費量(L/日)		

油圧式杭圧入引抜機自走装置の取付・取外

V1001

施 工 単 価 表

単第0 -0025 表

頁0-0048

鋼矢板圧入引抜標準積算資料 1 回 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
機-24_油圧式杭圧入引抜機運転 ハット形鋼矢板900mm用 1,000kN 排出ガス対策型3次基準	0.32	日			S9128 単第0-0023 表
自走装置賃料	0.32	日			TK001
機-18_ラフテレーンクレーン運転 25t吊 排出ガス対策型2次基準	0.32	日			鋼矢板圧入引抜標準積算資料 S9000053 単第0-0024 表
土木一般世話役	0.25	人			RTPC00009
特殊作業員	0.25	人			RTPC00001
とび工	0.11	人			RTPC00004
*** 単位当たり ***	1	回			

油圧式杭圧入引抜機の自走

V1002

施 工 単 価 表

単第0 -0026 表

頁0-0049

鋼矢板圧入引抜標準積算資料 10 枚 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
機-24_油圧式杭圧入引抜機運転 ハット形鋼矢板900mm用 1,000kN 排出ガス対策型3次基準	0.05	日			S9128 単第0-0023 表
自走装置賃料	0.05	日			TK001
土木一般世話役	0.05	人			鋼矢板圧入引抜標準積算資料 RTPC00009
特殊作業員	0.05	人			RTPC00001
とび工	0.11	人			RTPC00004
*** 合計 ***	10	枚			
*** 単位当たり ***	1	枚			

施 工 単 価 表

頁0-0050

油圧式杭圧入引抜機据付・解体
圧入 (Nmax 25)

S0458

単第0 -0027 表

1 回 当り

10H型

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	0.290	人			RTPC00009
特殊作業員	0.290	人			RTPC00001
とび工	0.580	人			RTPC00004
機-24_油圧式杭圧入引抜機運転 ハット形鋼矢板900mm用 1,000kN 排出ガス対策型3次基準	0.250	日			S9128 単第0-0023 表
機-18_ラフテレーンクレーン運転 25t吊 排出ガス対策型2次基準	0.300	日			S9000053 単第0-0024 表
諸雑費	1	一式			#91
*** 単位当たり ***	1	回			
A=1 圧入 (Nmax 25) C=1 陸上施工			B=9 10H型		

施 工 単 価 表

単第0 -0028 表

S0180

ガス切断
鋼矢板

1 箇所 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
溶接工	0.130	人			RTPC00019 9
普通作業員	0.040	人			RTPC00002 9
酸素ガス ポンベ	0.630	m 3			T0831
アセチレンガス ポンベ	0.260	k g			T0832
諸雑費	0.1	%			#09
*** 単位当たり ***	1	箇所			
A=3 鋼矢板					

施工単価表

頁0-0052

現場発生品及び支給品運搬

SPK23040410

単第0 -0029 表

クレーン装置付BT2t級2.9t吊

片道運搬距離11.5km以下(9.0km超)

1

t 当り

機械構成比： 14.21%

労務構成比：

82.66%

材料構成比：

3.13%

市場単価構成比：

0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
トラック クレーン装置付 ベーストラック2t級吊能力2.9t	14.21%		トラック クレーン装置付 ベーストラック2t級吊能力2.9t		MTPC00154 MTPT00154
特殊作業員	41.66%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
特殊運転手	41.00%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 小型ローリー(パトロール給油)	3.13%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 クレーン装置付BT2t級2.9t吊 C=11 片道運搬距離11.5km以下(9.0km超)			B=2 DID区間有り		

施 工 単 価 表

防護柵設置工(Gr) コンクリート建込
- 塗装品 Gr-C-2B

SS000123

単第0 -0030 表

[規]100m以上 1 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ガードレール設置工(塗装) Gr - C - 2 B Co建込	1.000	m			TS133
諸雑費	1	一式			#91
*** 単位当たり ***	1	m			
A=1 - C=1 [規]100m以上 E=1 -			B=3 塗装品 D=1 - F=1 -	Gr-C-2B	
G=1 - I=1 -			H=1 -		

施工単価表

頁0-0054

下層路盤(車道・路肩部)
全仕上り厚150mm 1層施工

SPK23040232

単第0 -0031 表

RC-40

1

m2 当り

機械構成比: 4.87%

労務構成比: 15.24%

材料構成比: 79.89%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
モータグレーダ 土工用・排2 ブレード幅3.1m	1.95%		モータグレーダ 土工用・排2 ブレード幅3.1m		MTPC00134 MTPT00134
ロードローラ マカダム・排2 運転質量10t締固め幅2.1m	1.54%		ロードローラ マカダム・排2 運転質量10t締固め幅2.1m		MTPC00135 MTPT00135
<賃>タイヤローラ 質量8～20t	0.50%		タイヤローラ 質量8～20t		KTPC00007 KTPT00007
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊運転手	7.01%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	2.46%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	2.33%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	0.69%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

施 工 単 価 表

SPK23040232

単第0 -0031 表

下層路盤(車道・路肩部)
全仕上り厚150mm 1層施工
機械構成比： 4.87%

RC-40
労務構成比： 15.24%

材料構成比： 79.89%

市場単価構成比： 0.00%

標準単価： 1

m2 当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
再生クラッシャーラン RC - 40	78.14%		クラッシャーラン 40～0mm [標準数量]全仕上り厚150mm		TTPC00008 TTPT00346
軽油 小型ローリー（パトロール給油）	1.44%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=150 全仕上り厚(mm) D=1 -(全ての費用)			B=4 RC-40		

施工単価表

頁0-0056

上層路盤(車道・路肩部)

SPK23040234

単第0 -0032 表

M-30

全仕上り厚 1 0 0 mm 1層施工

1

m2 当り

機械構成比: 10.05%

労務構成比: 31.45%

材料構成比: 58.50%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
モータグレーダ 土工用・排2 ブレード幅3.1m	4.02%		モータグレーダ 土工用・排2 ブレード幅3.1m		MTPC00134 MTPT00134
ロードローラ マカダム・排2 運転質量10t締固め幅2.1m	3.18%		ロードローラ マカダム・排2 運転質量10t締固め幅2.1m		MTPC00135 MTPT00135
<賃>タイヤローラ 質量8～20t	1.04%		タイヤローラ 質量8～20t		KTPC00007 KTPT00007
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊運転手	14.47%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	5.08%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	4.81%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	1.42%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

施工単価表

頁0-0057

上層路盤(車道・路肩部)

SPK23040234

単第0 -0032 表

M-30

全仕上り厚 1 0 0 mm 1層施工

1

m2 当り

機械構成比： 10.05% 労務構成比： 31.45% 材料構成比： 58.50% 市場単価構成比： 0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
粒度調整碎石 M - 3 0	54.88%		再生粒度調整碎石 RM-40 [標準数量]全仕上り厚150mm		TTPCD0021 TTPT00357
軽油 小型ローリー（パトロール給油）	2.97%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=6 H=1 M-30 -(全ての費用)			E=100 全仕上り厚(mm)		

施工単価表

頁0-0058

表層(車道・路肩部)

SPK23040241

単第0 -0033 表

平均幅員3.0m超

1層当り平均仕上厚 5 0 mm

1

m2 当り

機械構成比： 1.63%

労務構成比： 10.57%

材料構成比： 87.80%

市場単価構成比： 0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
<賃>アスファルトフィニッシャ(ホイール型) 舗装幅2.3～6m	1.04%		アスファルトフィニッシャ [ホイール型] 舗装幅2.3～6.0m		KTPC00060 KTPT00060
<賃>タイヤローラ 質量8～20t	0.16%		タイヤローラ 質量8～20t		KTPC00007 KTPT00007
<賃>ロードローラ(マカダム) 質量10～12t	0.16%		ロードローラ [マカダム]質量10t～12t		KTPC00047 KTPT00047
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	3.78%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	2.17%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
特殊運転手	2.12%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	0.74%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

施工単価表

頁0-0059

表層(車道・路肩部)

SPK23040241

単第0 -0033 表

平均幅員3.0m超

1層当り平均仕上厚 5 0 mm

1

m2 当り

機械構成比: 1.63%

労務構成比:

10.57%

材料構成比: 87.80%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
再生アスファルト混合物 密粒度 (2 0)	79.45%		密粒度As混合物(20) [標準数量]平均仕上り厚50mm		TTPCD0038 TTPT00284
アスファルト乳剤 P K - 3 プライムコート用	7.66%		アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用		TTPC00026 TTPT00026
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	0.58%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=4 平均幅員3.0m超 C=6 再生密粒度アスファルト混合物(20) G=1 - I=1 -(全ての費用)			B=50 1層当り平均仕上り厚(mm) E=2 PK-3 H=1 -		

施 工 単 価 表

SDT00031

単第0 -0034 表

1 m3 当り

構造物とりこわし工(無筋構造物)
機械施工

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
昼間_無筋構造物【手間のみ】 機械施工 時間的制約なし	1.000	m3			TDT001561
諸雑費	1	一式			#91
*** 単位当たり ***	1	m3			
A=1 昼間施工 C=1 -			B=1 機械施工 D=1 時間的制約なし		

施 工 単 価 表

SDT00033

単第0 -0035 表

構造物とりこわし工(鉄筋構造物)
機械施工

1 m3 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
昼間_鉄筋構造物【手間のみ】 機械施工 時間的制約なし	1.000	m3			TDT001573
諸雑費	1	一式			#91
*** 単位当たり ***	1	m3			
A=1 昼間施工 C=1 -			B=1 機械施工 D=1 時間的制約なし		

施工単価表

頁0-0062

舗装版切断
アスファルト舗装版

SPK23040306

アスファルト舗装版厚15cm以下

単第0 -0036 表

1

m 当り

機械構成比： 6.05%

労務構成比：

55.50%

材料構成比： 38.45%

市場単価構成比： 0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
コンクリートカッタ バキューム式・湿式 切削深20cm級ブレード径 φ 56cm	4.09%		コンクリートカッタ バキューム式・湿式 切削深20cm級ブレード径 φ 56cm		MTPC00056 MTPT00056
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	19.28%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	9.90%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
普通作業員	8.33%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
その他(労務)			その他(労務)		ER009
コンクリートカッタ(ブレード) 径22インチ(550mm)	35.21%		コンクリートカッタブレード 自走式切断機用 径56cm(22インチ)		TTPC00015 TTPT00015
ガソリン レギュラー スタンド	2.19%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工単価表

頁0-0063

舗装版切断
アスファルト舗装版

SPK23040306

アスファルト舗装版厚15cm以下

単第0 -0036 表

1

m 当り

機械構成比： 6.05%

労務構成比：

55.50%

材料構成比： 38.45%

市場単価構成比： 0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
積算単価			積算単価		EP001
A=1 アスファルト舗装版 E=1 -(全ての費用)			B=1 アスファルト舗装版厚15cm以下		

施工単価表

頁0-0064

舗装版破碎
アスファルト舗装版

SPK23040305

障害無し 舗装版厚15cm以下

単第0 -0037 表

1

m2 当り

機械構成比： 9.20% 労務構成比： 82.23% 材料構成比： 8.57% 市場単価構成比： 0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.45m3(平積0.35m3)	9.20%		バックホウ [クローラ型・排ガス対策型(第2次)] 山積0.45m3(平積0.35m3)		KTPC00004 KTPT00004
土木一般世話役	29.42%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊運転手	28.07%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	24.74%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 小型ローリー(パトロール給油)	8.57%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 アスファルト舗装版 C=1 騒音振動対策不要 F=1 積込作業有り			B=1 障害無し D=1 舗装版厚15cm以下 G=1 -(全ての費用)		

施工単価表

頁0-0065

殻運搬

SPK23040152

単第0 -0038 表

Co(無筋)構造物とりこわし

DID区間無し 運搬距離8.0km以下(5.7km超)

1

m3 当り

機械構成比： 42.35%

労務構成比：

42.40%

材料構成比： 15.25%

市場単価構成比：

0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	42.35%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
一般運転手	42.40%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 小型ローリー(パトロール給油)	15.25%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 Co(無筋)構造物とりこわし C=1 DID区間無し E=1 -(全ての費用)			B=1 機械積込 D=34 運搬距離8.0km以下(5.7km超)		

施工単価表

頁0-0066

殻運搬

SPK23040152

単第0 -0039 表

Co(鉄筋)構造物とりこわし

DID区間無し 運搬距離8.0km以下(5.7km超)

1

m3 当り

機械構成比: 42.35%

労務構成比:

42.40%

材料構成比: 15.25%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	42.35%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
一般運転手	42.40%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 小型ローリー(パトロール給油)	15.25%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 Co(鉄筋)構造物とりこわし C=1 DID区間無し E=1 -(全ての費用)			B=1 機械積込 D=34 運搬距離8.0km以下(5.7km超)		

施工単価表

頁0-0067

殻運搬

舗装版破碎

機械構成比： 45.57% 労務構成比： 37.51%

SPK23040152
DID区間有り 運搬距離19.5km以下(10.5km超)

材料構成比： 16.92% 市場単価構成比： 0.00%

単第0 -0040 表

標準単価： 1

m3 当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	45.57%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
一般運転手	37.51%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 小型ローリー(パトロール給油)	16.92%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=3 舗装版破碎 C=2 DID区間有り E=1 -(全ての費用)			B=3 機械積込(騒音対策不要,舗装版厚15cm以下) D=57 運搬距離19.5km以下(10.5km超)		

施工単価表

現場発生品及び支給品運搬

SPK23040410

単第0 -0041 表

クレーン装置付BT2t級2.9t吊

片道運搬距離17.0km以下(14.0km超)

1

t 当り

機械構成比： 14.21%

労務構成比：

82.66%

材料構成比： 3.13%

市場単価構成比： 0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
トラック クレーン装置付 ベーストラック2t級吊能力2.9t	14.21%		トラック クレーン装置付 ベーストラック2t級吊能力2.9t		MTPC00154 MTPT00154
特殊作業員	41.66%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
特殊運転手	41.00%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 小型ローリー（パトロール給油）	3.13%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 クレーン装置付BT2t級2.9t吊 C=14 片道運搬距離17.0km以下(14.0km超)			B=2 DID区間有り		

施 工 単 価 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	0.161	人			RTPC00009 9
特殊作業員	0.161	人			RTPC00001 9
普通作業員	0.161	人			RTPC00002 9
耐候性大型土のう 110×110cm 短期仮設（1年）対応	10	枚			F0000003650 土木工事実施設計単価表 45頁
流用土	10	m3			F0000000001
機-28_バックホウ運転(賃料) クレーン付2.9t吊_山積0.8m3	0.161	日			S9035 単第0-0043 表
諸雑費	7	%			#09
*** 合計 ***	10	袋			
*** 単位当たり ***	1	袋			
A=3650 【F】大型土のう(袋)			B=1 【F】土砂(m3)		
土木一般世話役 = 1 * 10 / D = 1 * 10 / 62 = 0.161 (人) 小数第4位四捨五入小数第3位止め 特殊作業員 = 1 * 10 / D = 1 * 10 / 62 = 0.161 (人) 小数第4位四捨五入小数第3位止め 普通作業員 = 1 * 10 / D = 1 * 10 / 62 = 0.161 (人) 小数第4位四捨五入小数第3位止め バックホウ運転 = 10 / D = 10 / 62 = 0.161 (日) 小数第4位四捨五入小数第3位止め					

施 工 単 価 表

機-28 バックハウ運転(賃料)
クレーン付2.9t吊 山積0.8m3

S9035

単第0 -0043 表

1 日 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
特殊運転手	1.00	人			RTPC00006
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	119.00	L			TTPC00013
<賃>バックハウ(クローラ型クレーン付) 山積0.8m3(平積0.6m3) 吊能力2.9t	1.44	供用日			KTPC00006
諸雑費	1	一式			#91
*** 単位当たり ***	1	日			
A=21 クレーン付2.9t吊_山積0.8m3 C=1 運転労務数量(人/日)			B=119 軽油消費量(L/日) D=1.44 機械賃料数量(供用日/日)		

施 工 単 価 表

大型土のう設置・撤去
作業半径6m以下

S0822

単第0 -0044 表

10 袋 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	0.116	人			RTPC00009
特殊作業員	0.116	人			RTPC00001
普通作業員	0.116	人			RTPC00002
機-28_バックホウ運転(賃料) クレーン付2.9t吊_山積0.8m3	0.116	日			S9035 単第0-0045 表
諸雑費	1	一式			#91
*** 合計 ***	10	袋			
*** 単位当たり ***	1	袋			
A=1 設置			B=1 作業半径6m以下		
土木一般世話役 = 1 * 10 / D = 1 * 10 / 86 = 0.116 (人) 小数第4位四捨五入小数第3位止め 特殊作業員 = 1 * 10 / D = 1 * 10 / 86 = 0.116 (人) 小数第4位四捨五入小数第3位止め 普通作業員 = 1 * 10 / D = 1 * 10 / 86 = 0.116 (人) 小数第4位四捨五入小数第3位止め バックホウ運転 = 10 / D = 10 / 86 = 0.116 (日) 小数第4位四捨五入小数第3位止め					

施 工 単 価 表

機-28 バックハウ運転(賃料)
クレーン付2.9t吊 山積0.8m3

S9035

単第0 -0045 表

1 日 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
特殊運転手	1.00	人			RTPC00006
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	94.00	L			TTPC00013
<賃>バックハウ(クローラ型クレーン付) 山積0.8m3(平積0.6m3) 吊能力2.9t	1.36	供用日			KTPC00006
諸雑費	1	一式			#91
*** 単位当たり ***	1	日			
A=21 クレーン付2.9t吊_山積0.8m3 C=1 運転労務数量(人/日)			B=94 軽油消費量(L/日) D=1.36 機械賃料数量(供用日/日)		

施 工 単 価 表

大型土のう設置・撤去
作業半径6m以下

S0822

単第0 -0046 表

10 袋 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	0.069	人			RTPC00009
特殊作業員	0.069	人			RTPC00001
機-28_バックホウ運転(賃料) クレーン付2.9t吊_山積0.8m3	0.069	日			S9035 単第0-0047 表
諸雑費	1	一式			#91
*** 合計 ***	10	袋			
*** 単位当たり ***	1	袋			
A=2 撤去			B=1 作業半径6m以下		
土木一般世話役 = 1 * 10 / D = 1 * 10 / 144 = 0.069 (人) 小数第4位四捨五入小数第3位止め 特殊作業員 = 1 * 10 / D = 1 * 10 / 144 = 0.069 (人) 小数第4位四捨五入小数第3位止め バックホウ運転 = 10 / D = 10 / 144 = 0.069 (日) 小数第4位四捨五入小数第3位止め					

施 工 単 価 表

機-28 バックハウ運転(賃料)
クレーン付2.9t吊 山積0.8m3

S9035

単第0 -0047 表

1 日 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
特殊運転手	1.00	人			RTPC00006
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	78.00	L			TTPC00013
<賃>バックハウ(クローラ型クレーン付) 山積0.8m3(平積0.6m3) 吊能力2.9t	1.26	供用日			KTPC00006
諸雑費	1	一式			#91
*** 単位当たり ***	1	日			
A=21 クレーン付2.9t吊_山積0.8m3 C=1 運転労務数量(人/日)			B=78 軽油消費量(L/日) D=1.26 機械賃料数量(供用日/日)		

施工単価表

頁0-0075

暗渠排水管

SPK23040092

単第0 -0048 表

据付・撤去 波状管及び網状管 200～400mm

シングル 合成樹脂排水材 呼び径300mm

1

m 当り

機械構成比： 0.00% 労務構成比： 9.44%

材料構成比： 90.56%

市場単価構成比： 0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
普通作業員	6.53%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	2.91%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
暗渠排水管(波状管) 呼び径300mm 高密度ポリエチレン管(シングル構造) 建設物価 388頁	90.56%		暗渠排水管 波状管 呼び径300mm 高密度ポリエチレン管(シングル構造)		TTPC00191 TTPT00191
積算単価			積算単価		E9999
A=3 据付・撤去 C=2 200～400mm F=1 継手材料費要 I=1 -(全ての費用)			B=2 波状管及び網状管 D=35 シングル 合成樹脂排水材 呼び径300mm G=4 期間3～6ヶ月未満(損料率0.55)		

施工単価表

頁0-0076

暗渠排水管

SPK23040092

単第0 -0049 表

据付・撤去 波状管及び網状管 450～600mm

シングル 合成樹脂排水材 呼び径600mm

1

m 当り

機械構成比： 0.00% 労務構成比： 6.24%

材料構成比： 93.76%

市場単価構成比： 0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
普通作業員	4.47%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	1.77%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
暗渠排水管(波状管) 呼び径600mm 高密度ポリエチレン管(シングル構造) 建設物価 388頁	93.76%		暗渠排水管 波状管 呼び径500mm 高密度ポリエチレン管(シングル構造)		TTPCD0276 TTPT00192
積算単価			積算単価		E9999
A=3 据付・撤去 C=3 450～600mm F=1 継手材料費要 I=1 -(全ての費用)			B=2 波状管及び網状管 D=40 シングル 合成樹脂排水材 呼び径600mm G=4 期間3～6ヶ月未満(損料率0.55)		

施 工 単 価 表

仮設材等(鋼矢板,H鋼,覆工板,敷鉄板等)運搬 S1000007
運搬距離 1.0 km 製品長 12m以内

単第0 -0050 表 1 式 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
基本運賃 運搬距離 1.0 km 製品長 12m以内 運搬質量 17.5 t	1.000	一式			S1000009 単第0-0051 表
往復					+00
積込み,取卸しに要する費用	1.000	一式			S1000009 単第0-0052 表
*** 単位当たり ***	1	一式			
A=10 運搬距離(km) C=1 - E=175 運搬質量(t) H=1 - L=1 基地積込み・取卸し,現場積込み・取卸し			B=1 12m以内 D=1 - F=1 - J=1 -		

施工単価表

単第0 -0051 表

S1000009

製品長 12m以内 運搬質量 175t

基本運賃

運搬距離 10km

1 式 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
基本運賃	1.000	一式			JU001
t当り基本運賃	175.000	t			E0001
*** 単位当たり ***	1	一式			
A=1 基本運賃 C=1 12m以内			B=10 運搬距離(km) D=175 運搬質量(t)		

積込み,取卸しに要する費用

S1000009

施 工 単 価 表

単第0 -0052 表

頁0-0079

1 式 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
仮設材積込み費（基地）	175.000	t			KR00E006
仮設材取卸し費（現場）	175.000	t			KR00E009
仮設材積込み費（現場）	175.000	t			KR00E008
仮設材取卸し費（基地）	175.000	t			KR00E007
*** 単位当たり ***	1	一式			
A=5 積込み,取卸しに要する費用 K=1 基地積込み・取卸し,現場積込み・取卸し			D=175 運搬質量(t)		

数量計算書(右岸側)

1. 数量総括表

数量総括表(右岸側) (1/2)

工事区分	工種	種別	細別	規格	単位	数量	摘要
本工事							
	河川土工	掘削工	掘削	オープンカット (土砂)	m ³	50	
			//	オープンカット (石積)	m ³	70	
		盛土工	路床盛土	発生土	m ³	80	
			河床盛土	既設石積転用 (5cm以上)	m ³	70	
			//	割栗石(5~15cm)	m ³	50	
		残土処理工	残土	土砂	m ³	120	
	護岸工	作業土工	床掘り	機械(土砂)	m ³	160	
		土留工	打込延長	油圧圧入引抜工法	m	941	最大N値=16
			鋼矢板	ハット形 SP-10H L=9.50m、n=3枚	t	2.5	初期圧入 打込長8.6m/枚
			//	ハット形 SP-10H L=8.00m、n=122枚	t	84.3	打込長7.5m/枚
			鋼矢板切断	ガス切断 ハット形 SP-10H	箇所	3	
			1号間詰め コンクリート		箇所	1	
			2号間詰め コンクリート		箇所	1	
			殻運搬処理	鋼矢板・スクラップ	t	0.4	
		笠コンクリート工	コンクリート工		式	1	L=113.4m
		防護柵工	ガードレール	Gr-C-2B	m	113	
	構造物撤去工	構造物取壊し工	コンクリート取壊し	無筋	m ³	19	
			//	鉄筋	m ³	1	
			舗装版破砕	アスファルト t=5cm	m ²	500	
			舗装版切断	アスファルト t=5cm	m	15	
		運搬処理工	殻運搬処理	コンクリート(無筋)	(t) m ³	(43.9) 19	
				コンクリート(鉄筋)	(t) m ³	(0.3) 0.1	
				アスファルト殻	(t) m ³	(59.2) 25	

数量総括表(右岸側) (2/2)

工事区分	工種	種別	細別	規格	単位	数量	摘要
	舗装工	アスファルト舗装工	表層	再生密粒度As t=5cm	m ²	504	
			上層路盤	粒度調整砕石 M-30 t=10cm	m ²	235	
			下層路盤	再生クラッシャーラン RC-40 t=15cm	m ²	235	
	仮設工	設置 工事用道路工	耕土掘削	耕土	m ³	280	
			掘削	砂	m ³	80	
			耕土盛土	耕土	m ³	280	
			工事用道路盛土	流用土	m ³	1600	
			ブルーシート	設置	m ²	1411	
			敷鉄板	設置 22×1524×3048	枚	219	
			土砂等運搬	土砂	m ³	1600	
		土留・仮締切工	大型土のう	製作・据付	袋	139	
		仮水路工	高密度ポリエチレン管	設置 シングル、φ300	m	23	
			〃	設置 シングル、φ600	m	36	
		設置 工事用道路工	掘削		m ³	1600	
			整地	耕土	m ³	280	
			ブルーシート	撤去	m ²	1411	
			敷鉄板	撤去 22×1524×3048	枚	219	
			大型土のう	撤去	袋	139	
			高密度ポリエチレン管	撤去 シングル、φ300	m	23	
			〃	撤去 シングル、φ600	m	36	
			土砂等運搬	土砂	m ³	1600	
			運搬	廃プラ	m ³	1.2	
			残土処分		m ³	1600	
			処分	廃プラ	(t) m ³	(0.4) 1.2	

2. 河川土工

河川土工集計表(右岸側)

[illegible]

土 工 流 用 計 算 (右 岸 側)

1. 河床盛土

発生土(石積)		必要土	
掘削	71.4	河床盛土	121.8
—	—	—	—
発生土計	71.4	必要土計	121.8

河床盛土

既設石積転用(5cm以上)

$$V = 71.4 \text{ m}^3$$

割栗石(5~15cm)

$$V = 121.8 - 71.4 = 50.4 \text{ m}^3$$

2. 残土

発生土(土砂)		必要土	
掘削	48.8	—	—
—	—	—	—
発生土計	48.8	必要土計	0.0

発生土(土砂)		必要土	
床掘り	158.1	路床	79.8
—	—	—	—
発生土計	158.1	必要土計	79.8

作 業 残 土

$$\text{土砂 } V = 158.1 - 79.8 \times 1/0.9 + 48.8 = 118.2 \text{ m}^3$$

河川土工 数量計算書

種別 測点	断面間 距離 (m)	修 正 距 離 (m)	掘削(土砂):C1			掘削(石積):C2			路床(流用土):B1			河床盛土 (割栗石5~15cm):B3			摘 要
			A (m ²)	A/2 (m ²)	V (m ³)	A (m ²)	A/2 (m ²)	V (m ³)	A (m ²)	A/2 (m ²)	V (m ³)	A (m ²)	A/2 (m ²)	V (m ³)	
右岸側															
N0.0	0.0	0.0	0.3	—	—	0.6	—	—	0.7	—	—	0.5	—	—	
N0.0+11.3	11.3	11.3	0.4	0.35	4.0	0.7	0.65	7.3	0.7	0.70	7.9	0.7	0.60	6.8	
N0.1	8.7	8.7	0.5	0.45	3.9	0.7	0.70	6.1	0.7	0.70	6.1	0.7	0.70	6.1	
N0.1+7.3	7.3	7.3	0.4	0.45	3.3	0.7	0.70	5.1	0.7	0.70	5.1	2.6	1.65	12.0	
N0.1+10.0	2.7	2.7	0.4	0.40	1.1	—	—	—	0.7	0.70	1.9	2.6	2.60	7.0	
N0.1+15.3	5.3	5.3	0.4	0.40	2.1	0.7	—	—	0.7	0.70	3.7	1.1	1.85	9.8	
N0.2	4.7	4.7	0.4	0.40	1.9	0.7	0.70	3.3	0.7	0.70	3.3	1.1	1.10	5.2	
N0.3	20.0	20.0	0.5	0.45	9.0	0.7	0.70	14.0	0.7	0.70	14.0	1.3	1.20	24.0	
N0.4	20.0	20.0	0.4	0.45	9.0	0.7	0.70	14.0	0.7	0.70	14.0	0.8	1.05	21.0	
N0.5	20.0	20.0	0.5	0.45	9.0	0.7	0.70	14.0	0.7	0.70	14.0	0.8	0.80	16.0	
N0.5+3.5	3.5	3.5	0.5	0.50	1.8	0.7	0.70	2.5	0.7	0.70	2.5	0.8	0.80	2.8	
N0.5+7.9	4.4	4.4	0.5	0.50	2.2	0.7	0.70	3.1	0.7	0.70	3.1	0.8	0.80	3.5	
N0.5+10.4	2.5	2.5	0.2	0.35	0.9	0.7	—	—	0.8	0.75	1.9	1.6	1.20	3.0	
N0.5+13.34	2.9	2.9	0.2	0.20	0.6	0.7	0.70	2.0	0.8	0.80	2.3	1.6	1.60	4.6	
合 計					48.8 m ³			71.4 m ³			79.8 m ³			121.8 m ³	

3. 護岸工

護岸工集計表(右岸側)

[illegible]

作業土工 数量計算書

種別 測点	断面間 距離 (m)	修 正 距 離 (m)	床掘り(土砂):E												摘 要
			A (m ²)	A/2 (m ²)	V (m ³)	A (m ²)	A/2 (m ²)	V (m ³)	A (m ²)	A/2 (m ²)	V (m ³)	A (m ²)	A/2 (m ²)	V (m ³)	
右岸側															
N0.0	0.0	0.0	1.6	—	—										
N0.0+11.3	11.3	11.3	1.4	1.50	17.0										
N0.1	8.7	8.7	1.4	1.40	12.2										
N0.1+10.0	10.0	10.0	1.5	1.45	14.5										
N0.2	10.0	10.0	1.3	1.40	14.0										
N0.3	20.0	20.0	1.4	1.35	27.0										
N0.4	20.0	20.0	1.4	1.40	28.0										
N0.5	20.0	20.0	1.4	1.40	28.0										
N0.5+3.5	3.5	3.5	1.3	1.35	4.7										
N0.5+13.34	9.8	9.8	1.3	1.30	12.7										
合 計					158.1 ^{m³}										

1.1 鋼矢板

1) 諸元

使用鋼材 ハット形 SP-10H

(初期圧入)

部材長 $L = 9.50$ m

本数 $n = 3$ 枚

(通常圧入)

部材長 $L = 8.00$ m

本数 $n = 122$ 枚

2) 打込長 (油圧圧入引抜工法 最大N値= 16)

$$L = 8.60 \times 3 + 7.50 \times 122 = 940.8 \text{ m}$$

1.2 鋼材質量

(初期圧入)

$$W = 9.50 \times 0.0864 \text{ (t/m)} \times 3 = 2.5 \text{ t}$$

(通常圧入)

$$W = 8.00 \times 0.0864 \text{ (t/m)} \times 122 = 84.3 \text{ t}$$

1.3 鋼矢板切断

ハット形 SP-10H ガス切断

$$N = 3 \text{ 箇所}$$

1.4 間詰めコンクリート

1号間詰めコンクリート

$$N = 1 \text{ 箇所}$$

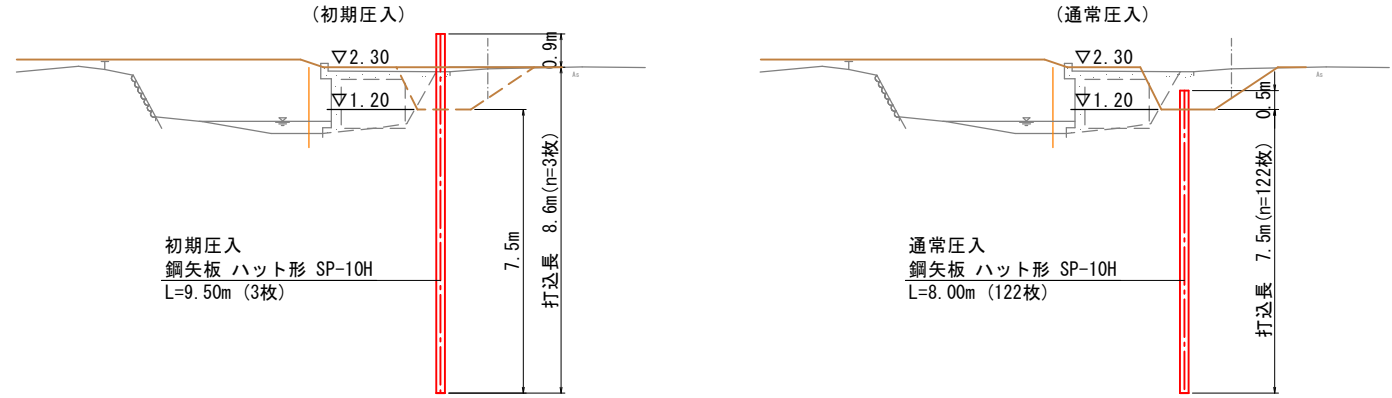
2号間詰めコンクリート

$$N = 1 \text{ 箇所}$$

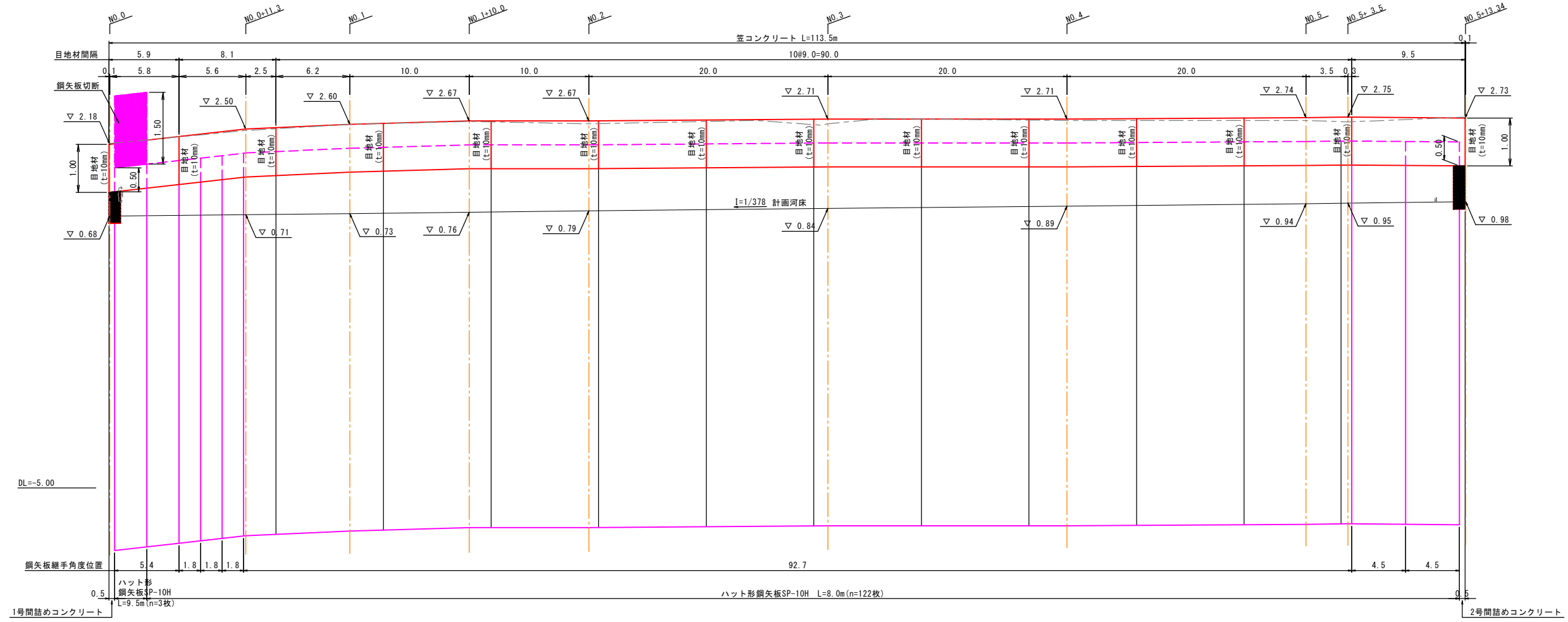
1.5 殻運搬処理(鋼矢板・スクラップ)

$$W = 1.50 \times 0.0864 \text{ (t/m)} \times 3 = 0.4 \text{ t}$$

断面図

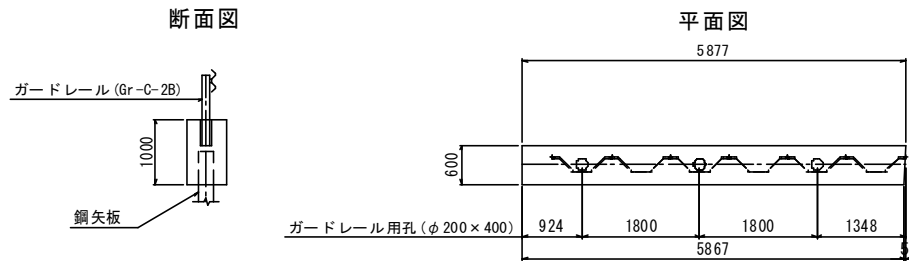


右岸側展開図

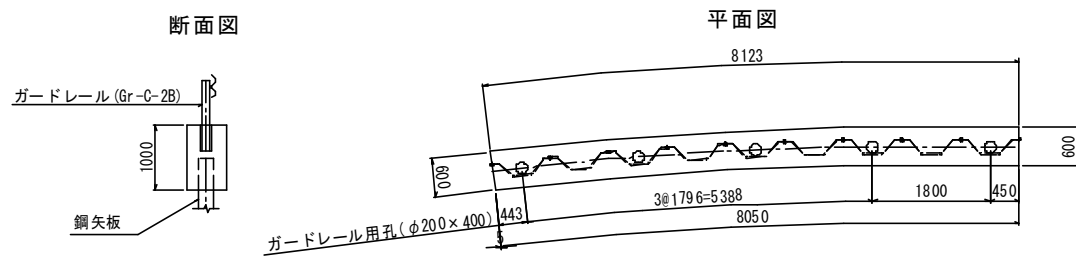


2. 笠コンクリート工数量計算(右岸側)

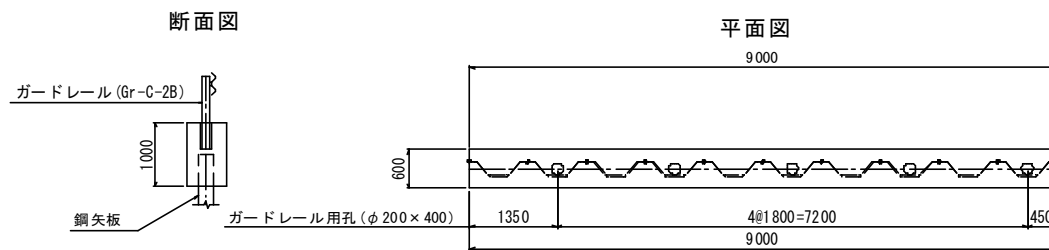
Aブロック (1箇所)



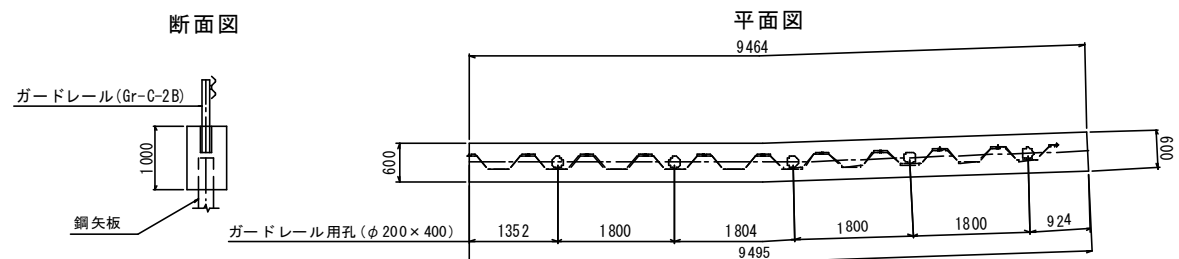
Bブロック (1箇所)



Cブロック (10箇所)



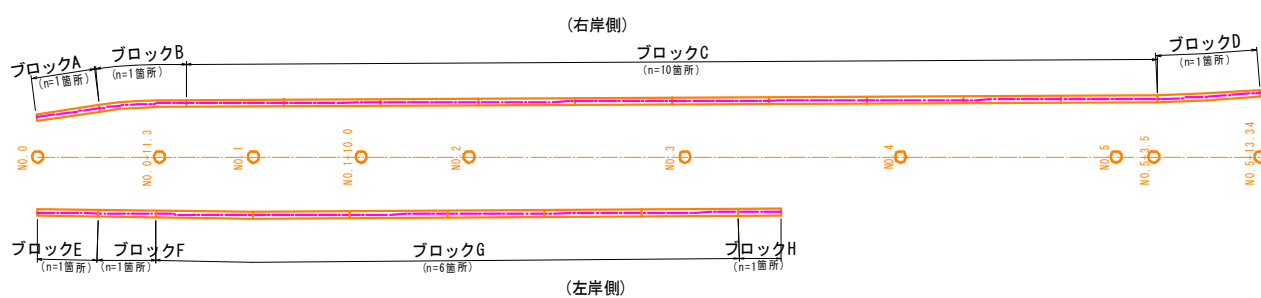
Dブロック (1箇所)



2.1 笠コンクリート集計表 L=113.4m当り

種 別	細 別	規 格	単位	数 量					摘 要
				Aブロック	Bブロック	Cブロック	Dブロック	合計	
笠コンクリート工	延長		m	5.87	8.09	90.00	9.48	113.44	
	コンクリート	鉄筋構造物 $\sigma_{ck}=24\text{ N/mm}^2$	m ³	3.52	4.85	54.00	5.69	68.06	
	型 枠	鉄筋構造物	m ²	14.1	19.2	213.0	21.8	268.1	
	鉄筋 (SD345)	D13	kg	149	210	2300	242	2901	
	目地材	t=10mm	m ²	1.2	0.6	6.0	0.6	8.4	
	円筒型枠	$\phi 200$	m	1.2	2.0	20.0	2.0	25.2	ガードレール用孔
防護柵工	ガードレール	Gr-C-2B	m	5.87	8.09	90.00	9.48	113.44	

位置図



2.2 笠コンクリート(Aブロック) 一基当り

$$L = 1/2 \times (5.877 + 5.867) = 5.872\text{m}$$

- ・コンクリート ($\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$)

$$V = 5.872 \times 0.600 \times 1.000 = 3.52 \text{ m}^3$$

- ・型枠

正面

$$5.872 \times 2 \times 1.000 = 11.74$$

側面

$$0.600 \times 1.000 \times 1 = 0.60$$

底面

$$5.872 \times 0.300 = 1.76$$

$$\Sigma A = 14.10 \text{ m}^2$$

- ・鉄筋

種別	径	単位	質量	合計
SD345	D10	kg	—	—
	D13	〃	149	149
	D16	〃	—	—
	D19	〃	—	
	D22	〃	—	
	D25	〃	—	
	D29	〃	—	—
	D32	〃	—	
	合計	kg	149	149

- ・目地材 (t=10mm)

$$A = 1.000 \times 0.600 \times 2 = 1.20 \text{ m}^2$$

- ・ガードレール (Gr-C-2B)

$$L = 5.87 \text{ m}$$

円筒型枠

$\phi 200$ (ガードレール用孔)

$$L = 0.400 \times 3 = 1.20 \text{ m}$$

2.3 笠コンクリート(Bブロック) 一基当り

$$L = 1/2 \times (8.123 + 8.050) = 8.087\text{m}$$

- ・コンクリート ($\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$)

$$V = 8.087 \times 0.600 \times 1.000 = 4.85 \text{ m}^3$$

- ・型枠

正面

$$8.087 \times 2 \times 1.000 = 16.17$$

側面

$$0.600 \times 1.000 \times 1 = 0.60$$

底面

$$8.087 \times 0.300 = 2.43$$

$$\Sigma A = 19.20 \text{ m}^2$$

- ・鉄筋

種別	径	単位	質量	合計
SD345	D10	kg	—	—
	D13	〃	210	210
	D16	〃	—	—
	D19	〃	—	
	D22	〃	—	
	D25	〃	—	
	D29	〃	—	—
	D32	〃	—	
	合計	kg	210	210

- ・目地材 (t=10mm)

$$A = 1.000 \times 0.600 \times 1 = 0.60 \text{ m}^2$$

- ・ガードレール (Gr-C-2B)

$$L = 8.09 \text{ m}$$

円筒型枠

$\phi 200$ (ガードレール用孔)

$$L = 0.400 \times 5 = 2.00 \text{ m}$$

2.4 笠コンクリート(Cブロック) 一基当り

L= 9.000m 全長 L=90m (n=10基)

・コンクリート ($\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$)

$$V= 9.000 \times 0.600 \times 1.000$$

$$\begin{aligned} &= 5.40 \text{ m}^3 \\ \text{全体 } 10@ &= 54.00 \text{ m}^3 \end{aligned}$$

・型枠

正面

$$9.000 \times 2 \times 1.000$$

$$= 18.00$$

側面

$$0.600 \times 1.000 \times 1$$

$$= 0.60$$

底面

$$9.000 \times 0.300$$

$$= 2.70$$

$$\begin{aligned} \Sigma A &= 21.30 \text{ m}^2 \\ \text{全体 } 10@ &= 213.00 \text{ m}^2 \end{aligned}$$

・鉄筋

種別	径	単位	質量(1基)	合計	
				1基	全体(10基)
SD345	D10	kg	—	—	—
	D13	〃	230	230	2300
	D16	〃	—		
	D19	〃	—		
	D22	〃	—		
	D25	〃	—	—	—
	D29	〃	—		
	D32	〃	—	—	—
	合計	kg	230	230	2300

・目地材 (t=10mm)

$$A= 1.000 \times 0.600 \times 1$$

$$\begin{aligned} &= 0.60 \text{ m}^2 \\ \text{全体 } 10@ &= 6.00 \text{ m}^2 \end{aligned}$$

・ガードレール (Gr-C-2B)

$$\begin{aligned} L &= 9.00 \text{ m} \\ \text{全体 } 10@ &= 90.00 \text{ m} \end{aligned}$$

円筒型枠

$\phi 200$ (ガードレール用孔)

$$L= 0.400 \times 5$$

$$\begin{aligned} &= 2.00 \text{ m} \\ \text{全体 } 10@ &= 20.00 \text{ m} \end{aligned}$$

2.5 笠コンクリート(Dブロック) 一基当り

$$L = 1/2 \times (9.464 + 9.495) = 9.480\text{m}$$

- ・コンクリート ($\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$)

$$V = 9.480 \times 0.600 \times 1.000 = 5.69 \text{ m}^3$$

- ・型枠

正面

$$9.480 \times 2 \times 1.000 = 18.96$$

底面

$$9.480 \times 0.300 = 2.84$$

$$\Sigma A = 21.80 \text{ m}^2$$

- ・鉄筋

種別	径	単位	質量	合計
SD345	D10	kg	—	—
	D13	〃	242	242
	D16	〃	—	—
	D19	〃	—	
	D22	〃	—	
	D25	〃	—	
	D29	〃	—	—
	D32	〃	—	
	合計	kg	242	242

- ・目地材 (t=10mm)

$$A = 1.000 \times 0.600 \times 1 = 0.60 \text{ m}^2$$

- ・ガードレール (Gr-C-2B)

$$L = 9.48 \text{ m}$$

円筒型枠

$\phi 200$ (ガードレール用孔)

$$L = 0.400 \times 5 = 2.00 \text{ m}$$

4. 構造物撤去工

構造物撤去工集計表(右岸側)

[illegible]

運 搬 処 理 工 集 計 表											
種 別	延長 (m) 面積 (m ²) 又は立積 (m ³)	単位	コンクリート無筋		コンクリート鉄筋		舗装版 車道				備 考
			厚さ (m)	立積 (m ³)	厚さ (m)	立積 (m ³)	厚さ (m)	立積 (m ³)			
コンクリート取壊し (無筋)				18.7							
コンクリート取壊し (鉄筋)						0.1					
舗装版破砕	504.1	m ³					0.05	25.2			
				m ³		m ³		m ³			
全体合計				18.7		0.1		25.2			
重量			t/m ³	t	t/m ³	t	t/m ³	t			
			2.35	43.9	2.50	0.3	2.35	59.2			
殻運搬処理						m ³				m ³	
				コンクリート殻 =	18.8			アスファルト殻 =	25.2		
				コンクリート殻 =	44.2	t		アスファルト殻 =	59.2	t	

構造物取壊し工 数量計算書

種別 測点	断面間 距離 (m)	修正 距離 (m)	コンクリート取壊し (既設ブロック積)			コンクリート取壊し						摘要
			A (m ²)	A/2 (m ²)	V (m ³)	A (m ²)	A/2 (m ²)	V (m ³)				
右岸側												
N0.0	0.0	0.0	—	—	—	0.1	—	—				
N0.0+11.3	11.3	11.3	—	—	—	0.1	0.10	1.1				
N0.1	8.7	8.7	—	—	—	0.1	0.10	0.9				
N0.1+7.3	7.3	7.3	0.8	—	—	0.1	0.10	0.7				
N0.1+10.0	2.7	2.7	0.8	0.80	2.2	—	—	—				
N0.1+15.3	5.3	5.3	0.8	0.80	4.2	0.1	—	—				
N0.2	4.7	4.7	—	—	—	0.1	0.10	0.5				
N0.3	20.0	20.0	—	—	—	0.1	0.10	2.0				
N0.4	20.0	20.0	—	—	—	0.1	0.10	2.0				
N0.5	20.0	20.0	—	—	—	0.1	0.10	2.0				
N0.5+3.5	3.5	3.5	—	—	—	0.1	0.10	0.4				
N0.5+7.9	4.4	4.4	0.8	—	—	0.1	0.10	0.4				
N0.5+10.4	2.5	2.5	0.8	0.80	2.0	0.1	—	—				
N0.5+13.34	2.9	2.9	—	—	—	0.1	0.10	0.3				
小計					m ³ 8.4			m ³ 10.3				
合計								m ³ 18.7				

5. 舗装工

舗装工集計表(右岸側)

[illegible]

6. 仮設工

仮設工集計表

種 別	細 別	規 格	単位	数 量	摘 要
設置 工事用道路工	耕土掘削	耕土	m ³	275.4	
	掘 削	砂	m ³	77.2	
	耕土盛土	耕土	m ³	275.4	仮置き
	工事用道路盛土	流用土	m ³	1553.9	
	ブルーシート	設置	m ²	1411.1	
	敷鉄板	設置 22×1524×3048	枚	219	
	土砂等運搬	土砂	m ³	1615.7	
	土留・仮締切工	大型土のう 製作・据付	袋	139	
	仮水路工	高密度ポリエチレン管 設置 シングル、φ300	m	23.0	
		高密度ポリエチレン管 設置 シングル、φ600	m	36.0	
撤去 工事用道路工	掘削		m ³	1553.9	
	整地	耕土	m ³	275.4	
	ブルーシート	撤去	m ²	1411.1	
	敷鉄板	撤去 22×1524×3048	枚	219	
	土留・仮締切工	大型土のう 撤去	袋	139	
	仮水路工	高密度ポリエチレン管 撤去 シングル、φ300	m	23.0	
		高密度ポリエチレン管 撤去 シングル、φ600	m	36.0	
	残土処理工	土砂等運搬	m ³	1615.7	
	運搬	廃プラ	m ³	1.2	
	残土等処分		m ³	1615.7	
	処分	廃プラ	m ³	1.2	V=0.4t

土工流用

	発生土(m3)	必要土(m3)
掘削	77.2	
工事用道路盛土		1553.9
大型土のう		139.0
	77.2	1692.9

1.運搬(土砂)

$V=1692.9-77.2=1615.7\text{m}^3$ (搬入土)

2.残土処分

$V=1615.7\text{m}^3$

3.廃プラ

3-1.ブルーシート撤去

$A=1411.1$

$(3.6 \times 5.4)\text{m}^2/\text{枚} = 19.4\text{m}^2/\text{枚}$

3-2.大型土のう

$N=139$ 袋

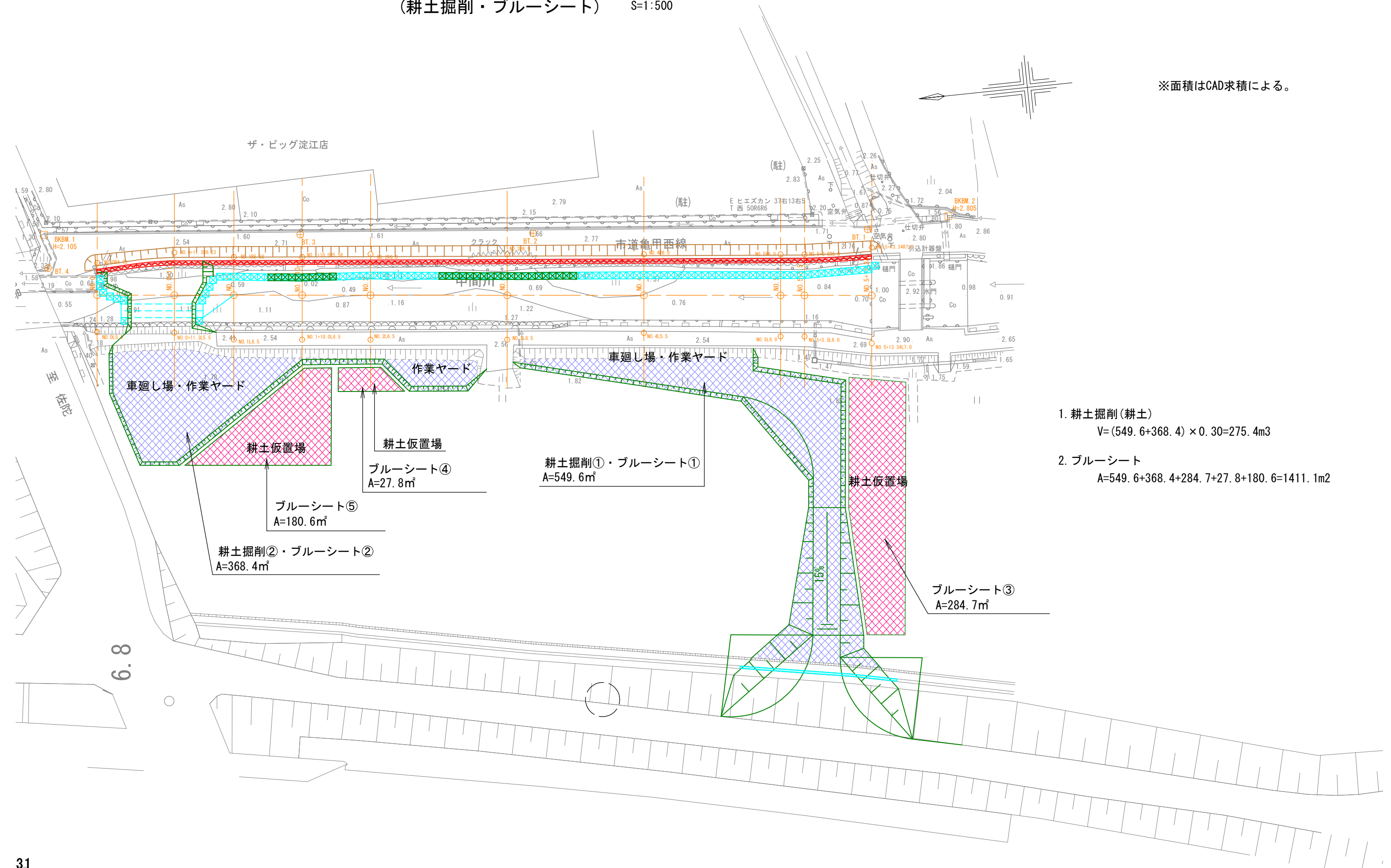
$W=(139+1411.1/19.4) \times 0.002\text{t}=0.423\text{t}$

$V=0.423 \div 0.35(\text{比重})=1.2\text{m}^3$

仮設計画平面図

(耕土掘削・ブルーシート) S=1:500

※面積はCAD求積による。



1. 耕土掘削(耕土)
 $V = (549.6 + 368.4) \times 0.30 = 275.4\text{m}^3$
2. ブルーシート
 $A = 549.6 + 368.4 + 284.7 + 27.8 + 180.6 = 1411.1\text{m}^2$

仮設工 数量計算書

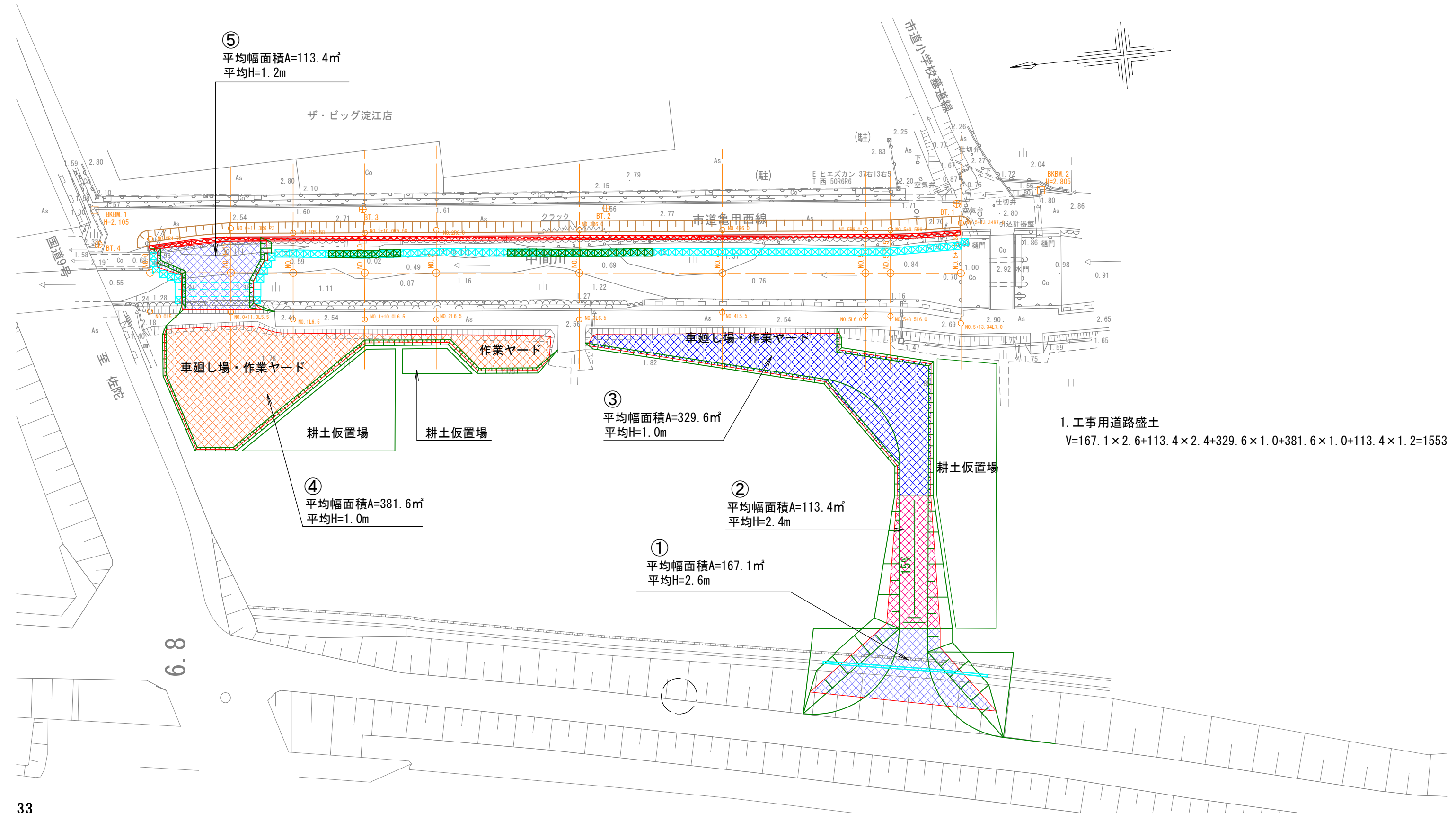
種別 測点	断面間 距離 (m)	修 正 距離 (m)	掘削(C)									摘 要
			A (m ²)	A/2 (m ²)	V (m ³)							
N0. 0-4. 2	0. 0	0. 0	0. 0	—	—							
N0. 0	4. 2	4. 2	0. 3	0. 15	0. 6							
N0. 0+11. 3	11. 3	11. 3	1. 8	1. 05	11. 9							
N0. 1	8. 7	8. 7	0. 1	0. 95	8. 3							
N0. 1+10. 0	0. 0	0. 0	0. 0	—	—							
N0. 2	10. 0	10. 0	0. 9	0. 45	4. 5							
N0. 3	20. 0	20. 0	0. 0	0. 45	9. 0							
N0. 4	20. 0	20. 0	1. 9	0. 95	19. 0							
N0. 5	20. 0	20. 0	0. 3	1. 10	22. 0							
N0. 5+3. 5	3. 5	3. 5	0. 2	0. 25	0. 9							
N0. 5+13. 34	9. 8	9. 8	0. 0	0. 10	1. 0							
合 計					m ³ 77. 2							

※面積はCAD求積による。

仮設計画平面図

(工事用道路盛土)

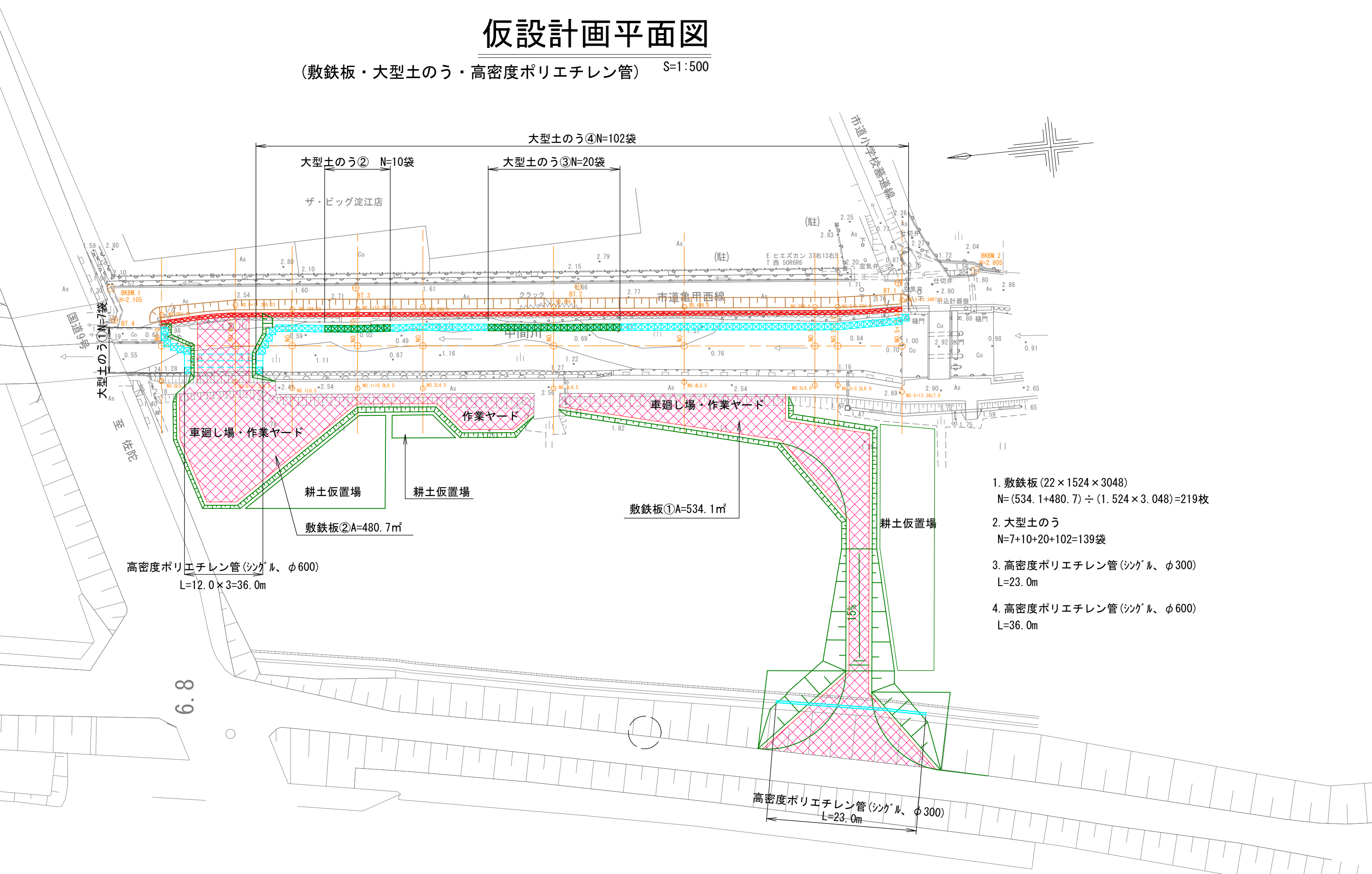
S=1:500



※面積はCAD求積による。

仮設計画平面図

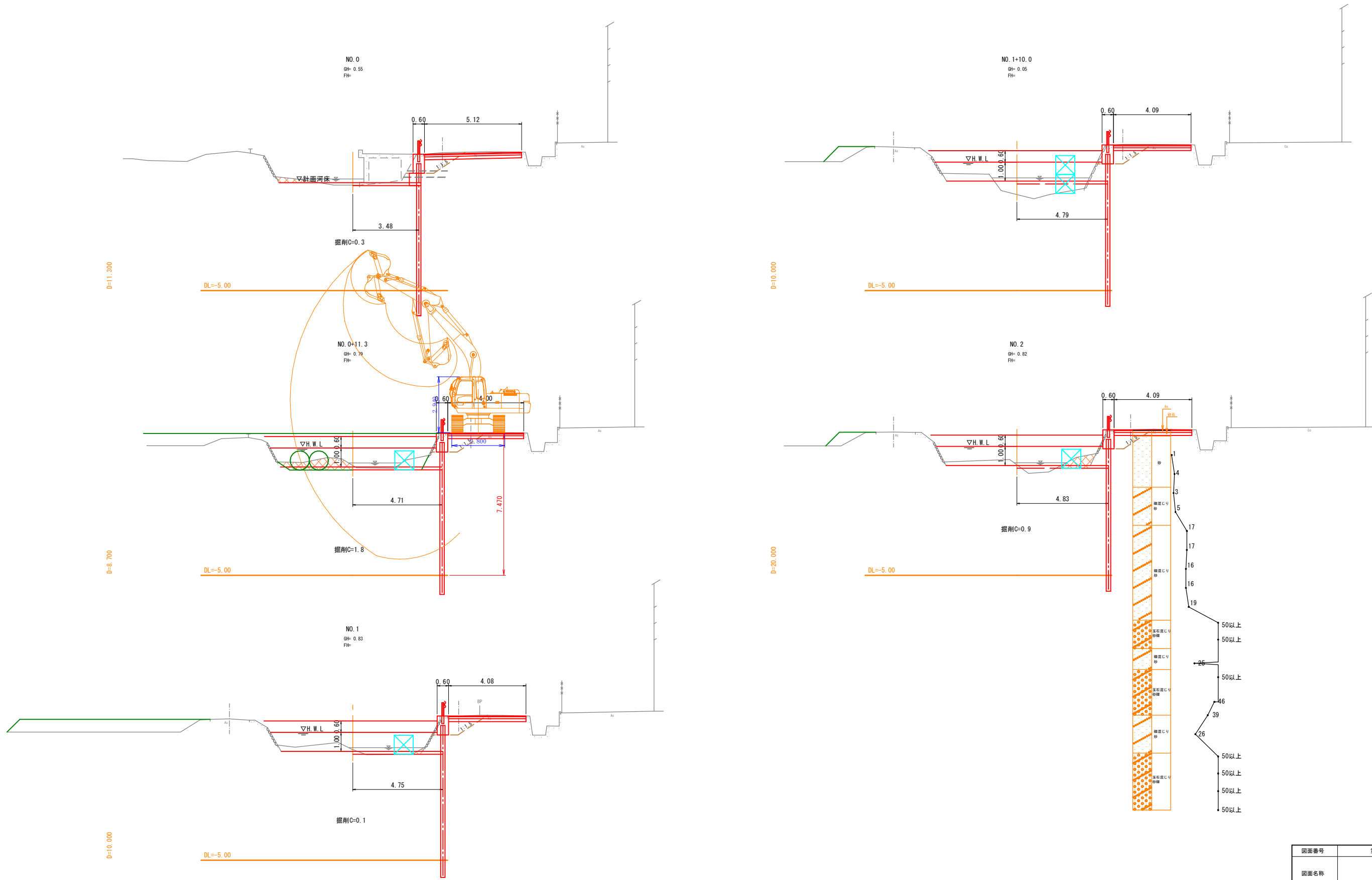
(敷鉄板・大型土のう・高密度ポリエチレン管) S=1:500



- 1. 敷鉄板 (22×1524×3048)
 $N = (534.1 + 480.7) \div (1.524 \times 3.048) = 219$ 枚
- 2. 大型土のう
 $N = 7 + 10 + 20 + 102 = 139$ 袋
- 3. 高密度ポリエチレン管 (シングル、φ300)
 $L = 23.0$ m
- 4. 高密度ポリエチレン管 (シングル、φ600)
 $L = 36.0$ m

仮設横断面図(1 / 2)

S=1:100



図面番号	第 枚 内 号
図面名称	横 断 図 (1/2)
縮 尺	1 : 100
製図年月日	令和 年 月 日
写図年月日	令和 年 月 日
米子市 都市整備部 都市整備課	

S=1 : 100

米子市 都市整備部 都市整備課